magicolor® 2550
ユーザーズガイド

A00V-9570-02K
1800821-014C

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2550 は、Windows、Macintosh、Linux 等の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。http://printer.konicaminolta.jp より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または、登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または、登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者 (以下、譲受人) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

もくじ

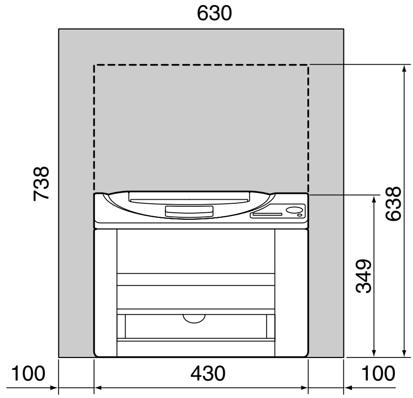
1 はじめに

お使いになる前に

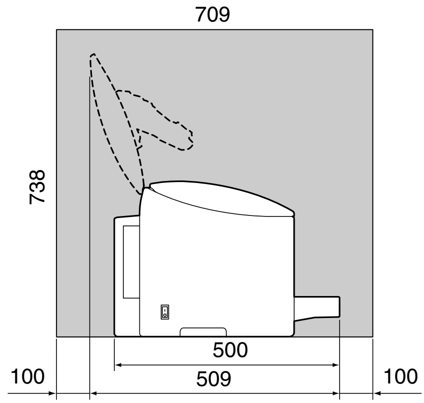
設置スペース

プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

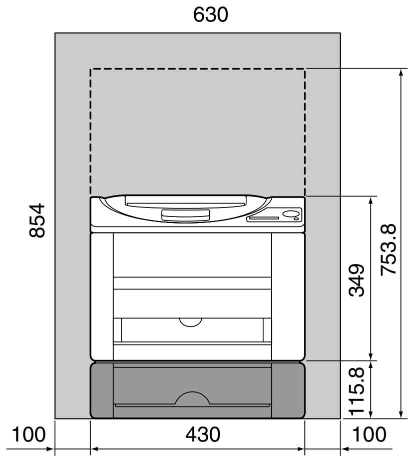
正面図



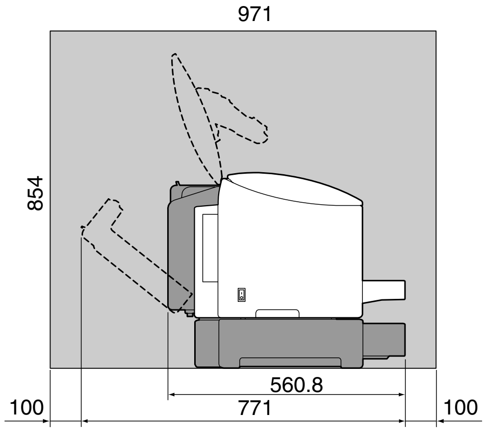
左側面図



正面図（オプション装着時）



左側面図（オプション装着時）



単位：mm

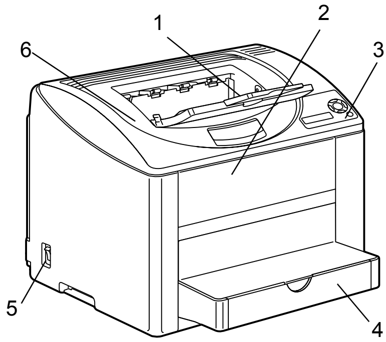
上記イラストの網掛け部はオプションです。

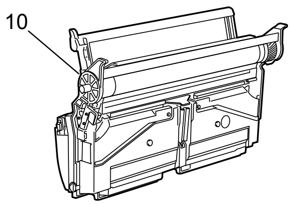
各部の名称

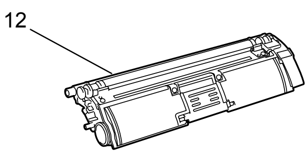
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

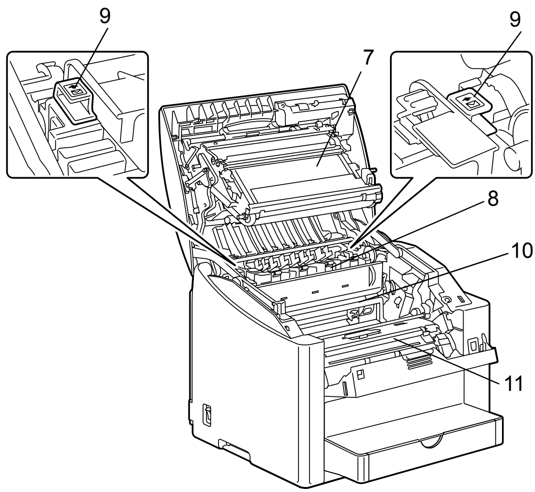
前面

1　排紙トレイ
2　前ドア
3　操作パネル
4　トレイ 1（多目的トレイ）
5　電源スイッチ
6　トップカバー
7　転写ベルト
8　定着ユニット
9　定着離間レバー
10　ドラムカートリッジ
11　トナーカートリッジラック
12　トナーカートリッジ







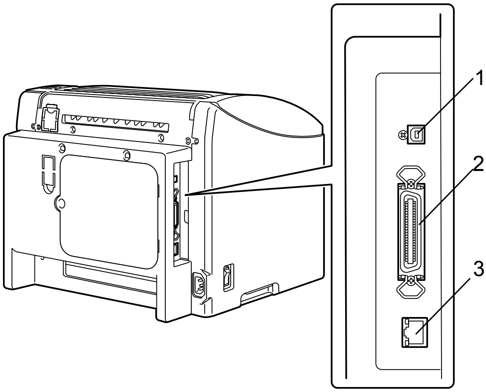


背面

1　USB ポート

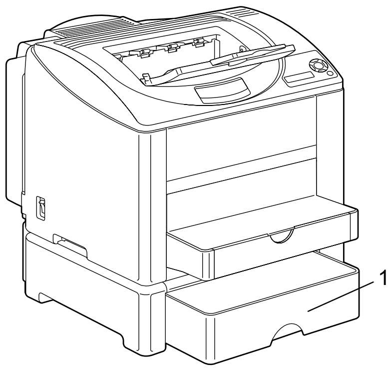
2　パラレルポート

3　10Base-T/100Base-TX（IEEE802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート



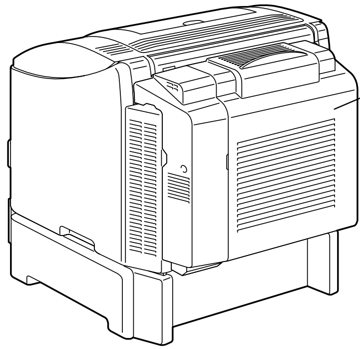
前面（オプション装着時）

1　給紙ユニット（トレイ 2）



背面（オプション装着時）

1　両面プリントユニット



ソフトウェアについて

2

付属の CD-ROM について

PostScript ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/Server 2003/2000 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」（p.39）をごらんください。
プリンタドライバ （Windows NT 4.0 用）	

Windows Me/98SE をお使いの場合は、Windows Me/98SE 用の PPD ファイルをご利用ください。詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」（p.39）をごらんください。

Windows NT 4.0 用 PostScript ドライバをインストールする際、Microsoft が提供する Service Pack 6a の CD-ROM が必要となります。

PCL ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/Server 2003/2000 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」（p.39）をごらんください。
プリンタドライバ （Windows Me/98SE 用）	
プリンタドライバ （Windows NT 4.0 用）	

PPD ファイル

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows Me/98SE 用）	さまざまな環境や、プリンタドライバ、アプリケーションに対応できます。
プリンタドライバ （Macintosh OS 9/X 用）	各 OS のプリンタドライバを使用する場合に必要です。 Macintosh、Linux 用の PPD ファイルについては、「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
プリンタドライバ （Linux 用）	

Windows 各 OS のプリンタドライバのインストールについては、「magicolor 2550 インストレーションガイド」をごらんください。

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
ダウンロードマネージャーユーティリティ （Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT 4.0、Macintosh OS 10.2.X 以降）	プリンタのハードディスクにフォントやオーバーレイ用のデータをダウンロードできます。 本ユーティリティは、オプションのハードディスクを装着している場合に使用できます。 機能や使いかたについて詳しくは、ダウンロードマネージャーのオンラインヘルプをごらんください。
Crown プリントモニタ＋ （Windows のみ）	TCP/IP プロトコルを使用して、プリンタへ直接プリントジョブを送信できます。 詳しくは、「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
Status Monitor （Windows のみ）	消耗品の状況やエラー情報など、現在のプリンタのステータスを確認できます。 詳しくは、「Status Monitor の使いかた」（p.87）をごらんください。

ユーティリティ	機能
PageScope Net Care	ステータス監視、ネットワーク設定などのプリンタ管理機能にアクセスできます。 詳しくは、「PageScope Net Care クイックガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Web Connection	ブラウザでプリンタのステータスの確認、各種設定の変更ができます。 詳しくは、「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Network Setup	TCP/IP、IPX プロトコルを使用して、ネットワークプリンタの基本設定を行うことができます。 詳しくは、「PageScope Network Setup 取扱説明書」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Plug and Print	ネットワークに新しく接続したプリンタを検知し、Windows プリントサーバ上にプリントオブジェクトを自動的に作成します。 詳しくは、「PageScope Plug and Print Quick Guide（英語）」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope NDPS Gateway	NDPS 環境でプリンタおよびコニカミノルタ製複合機を使用するためのネットワークユーティリティです。 詳しくは、「PageScope NDPS Gateway 取扱説明書」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ユーティリティ	機能
Peer to Peer Printing Tool（Windows Me/98SE 用）	Windows Me/98SE をお使いの場合に、あらかじめピアツーピアプリントのセットアップをしておいてください。サーバを通さずに、プリンタへ直接プリントジョブを送信できます。詳しくは、「Peer to Peer Printing Tool ユーザーズガイド」（Software Utilities CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨)
  - Power Mac G3 以降（G4 以降を推奨）
  - Intel プロセッサを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows XP Home Edition/Professional, Windows Server 2003, Windows 2000 Professional, Windows Me, Windows 98SE, Windows NT 4.0
  - 64bit
    Microsoft Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

    64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載のプロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
    64 bit ドライバは、弊社ホームページより入手することができます。
  - Mac OS X 10.2 以降、Mac OS X Server 10.2 以降（最新のパッチの適用を推奨）
  - Red Hat Linux 9.0、SuSE Linux 8.2

    Macintosh, Linux のプリンタドライバについては、「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
- 空きハードディスク容量：
  - 約 256 MB 以上
- メモリ：
  OS が推奨する以上
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート
  - パラレル（IEEE1284）ポート

USB 接続でお使いの場合、以下の条件を満たしている必要があります。
お使いのコンピュータに、Windows XP Home Edition/ Professional, Windows Server 2003, Windows 2000 Professional, Windows Me, Windows 98SE がインストールされていること。

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタドライバのインストールについては「magicolor 2550 インストレーションガイド」をごらんください。
Macintosh, Linux のプリンタドライバのインストールについては「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

以降の説明は、特別な記述がない限り 32bit ドライバと 64bit ドライバで共通の情報を含みます。Windows XP および Windows Server 2003 に関する項目は、同様に Windows XP Professional x64 Edition および Windows Server 2003 x64 Edition にも共通です。

Windows XP/Server 2003/2000/NT 4.0

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合

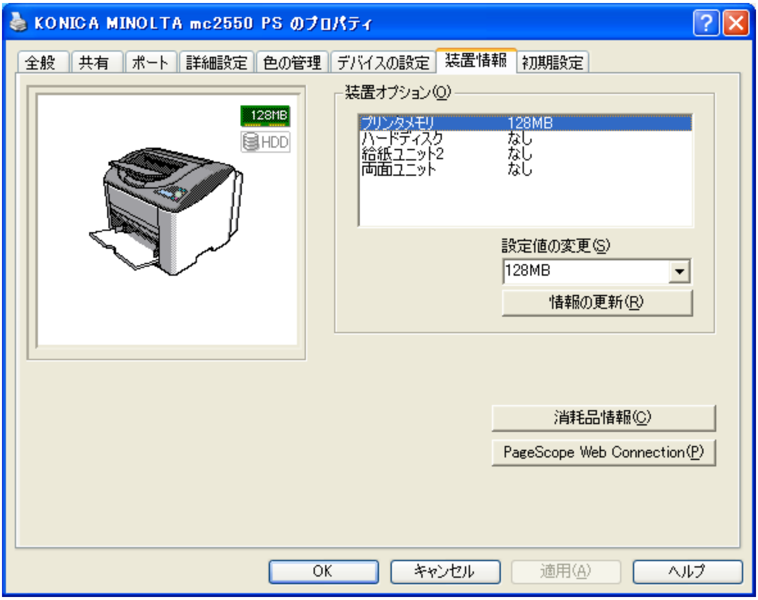
［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows 2000/NT 4.0 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「装置情報」タブをクリックします。



4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［情報の更新］は本プリンタとの双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［情報の更新］が使用できない場合は、手順 6、7 を行ってください。

6 「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから「あり」または、「なし」を選択します。

「プリンタメモリ」を選択した場合は、装着しているメモリに応じて「128 MB」、「256 MB」、「384 MB」、「640 MB」から一つ選択します。工場出荷時は 256 MB のメモリが装着されています。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

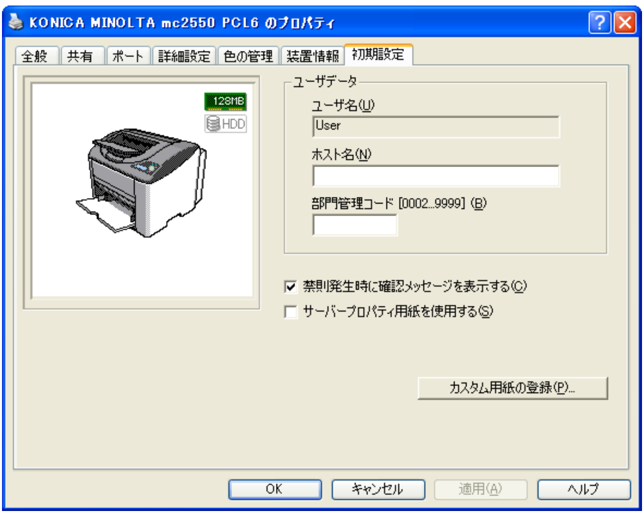
Windows NT 4.0 をお使いの場合は、プリンタ画面の「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または、「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」を右クリックし、「ドキュメントの規定値」を選択します。手順 12 へ進みます。

8 「初期設定」タブをクリックします。

PS ドライバ



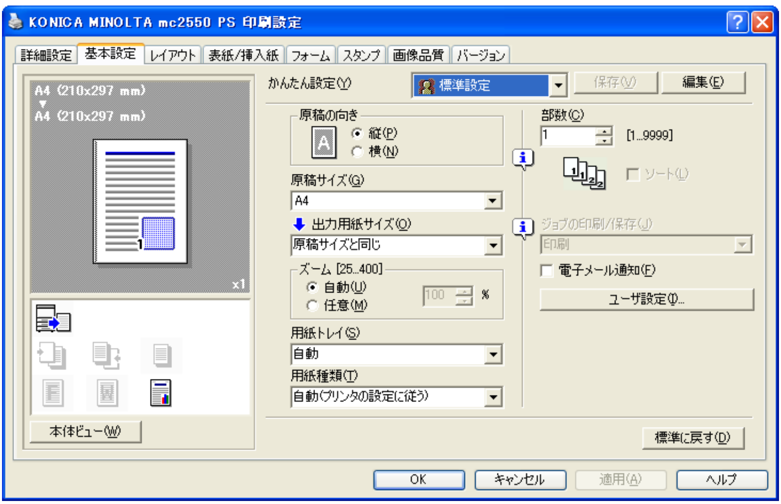
PCL ドライバ



9 必要な項目を設定し、［適用］をクリックします。
- ユーザ名：
  Windows のログイン名が表示されます。
- ホスト名 / 部門管理コード：
  本プリンタでは使用しません。
- 禁則発生時に確認メッセージを表示する：
  チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。
- サーバープロパティ用紙を使用する：
  チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンタで利用可能なサイズが基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。
- カスタム用紙の登録（PCL ドライバのみ）：
  カスタム用紙を登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

10 「全般」タブをクリックします。

11 ［印刷設定］をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。



12 使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

> 各タブの設定項目については、「PostScript ドライバの設定」（p.40）、「PCL ドライバの設定」（p.58）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

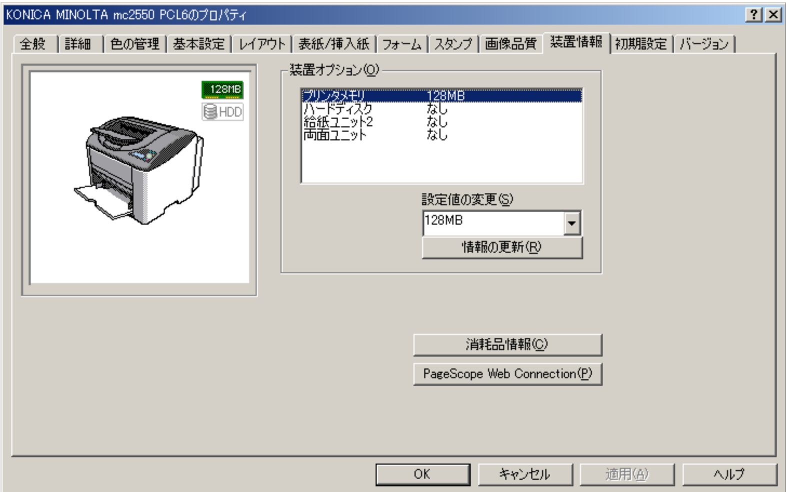
14 ［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 ［OK］をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

Windows Me/98SE（KONICA MINOLTA mc2550 PCL6）

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。
– ［スタート］メニューから、「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 「装置情報」タブをクリックします。



3 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 7 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 4 に進んでください。

4 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

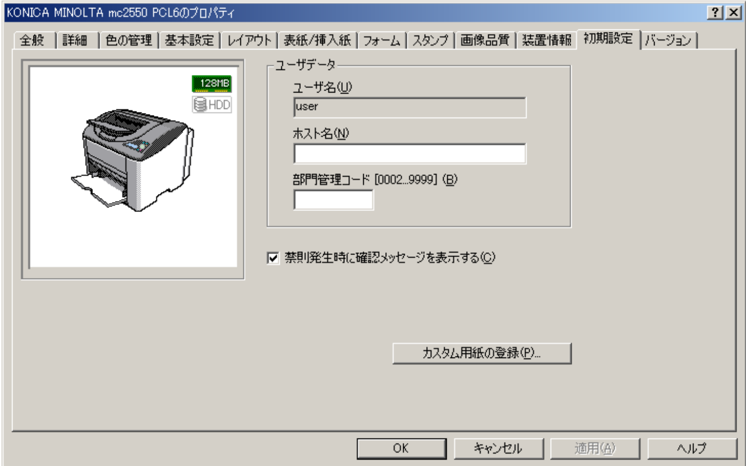
［情報の更新］は本プリンタとの双方向通信が行なわれている場合にのみ使用可能です。［情報の更新］が表示されていない場合は、手順 5、6 を行ってください。

5 「装置オプション」リストからオプションを一つずつ選択し、「設定値の変更」メニューから「あり」または、「なし」を選択します。

「プリンタメモリ」を選択した場合は、装着しているメモリに応じて「128 MB」、「256 MB」、「384 MB」、「640 MB」から一つ選択します。工場出荷時は 256 MB のメモリが装着されています。

6 ［適用］をクリックします。

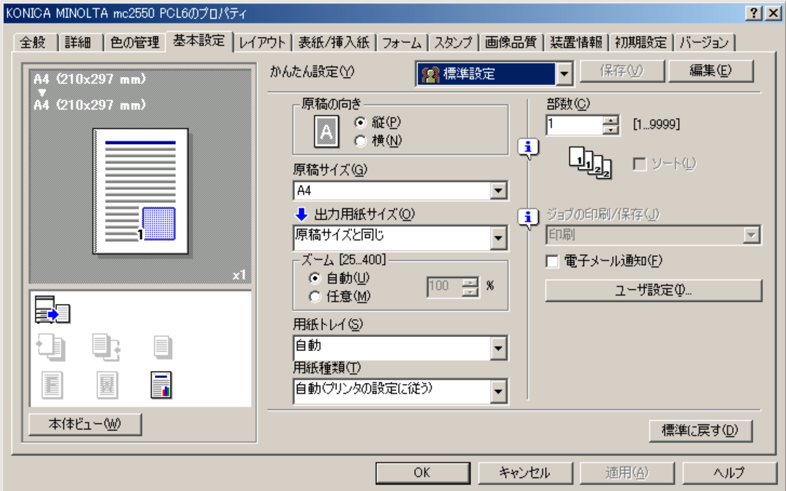
7 「初期設定」タブをクリックします。



8 必要な項目を設定し、[適用] をクリックします。

– ユーザ名 :
  Windows のログイン名が表示されます。
– ホスト名 / 部門管理コード :
  本プリンタでは使用しません。
– 禁則発生時に確認メッセージを表示する :
  チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。
– カスタム用紙の登録 :
  カスタム用紙を登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

9 「基本設定」タブをクリックして、使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。



各タブの設定項目については、「PCL ドライバの設定」(p.58) をごらんください。

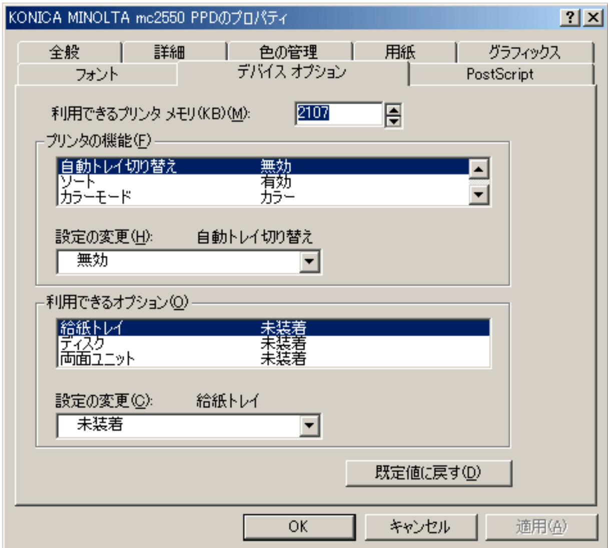
10 各初期設定を変更したら、[適用] をクリックします。

11 [OK] をクリックします。

Windows Me/98SE（KONICA MINOLTA mc2550 PPD）

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。
- ［スタート］メニューから、「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc2550 PPD」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 「デバイス オプション」タブをクリックします。



3 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 6 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 4 に進んでください。

4 「利用できるオプション」リストからオプションを一つずつ選択し、「設定の変更」メニューから「装着」または、「未装着」を選択します。

5 ［適用］をクリックします。

6 使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。



各タブの設定項目については、「PPD ファイルの設定（Windows Me/98SE）」（p.76）をごらんください。

7 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストール（Windows）

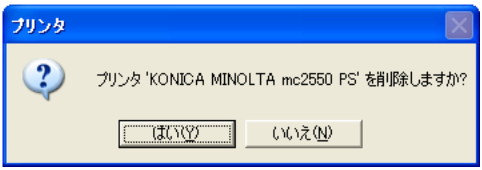
ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でプリンタ画面を表示します。

- **Windows XP Home Edition の場合**：［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
- **Windows XP Professional/Sever 2003 の場合**：［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
- **Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0 の場合**：「スタート」メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」、「KONICA MINOLTA mc2550 PPD」プリンタアイコンを右クリックし、「削除」を選択します。

3 下図のような画面が表示されたら、［はい］をクリックします。



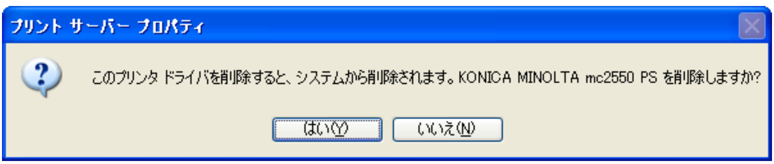
Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの場合は、手順 4 へ進んでください。
Windows Me/98SE/NT 4.0 をお使いの場合は、手順 7 へ進んでください。

4 「ファイル」メニューから「サーバーのプロパティ」を選択します。

5 「ドライバ」タブをクリックし、プリンタドライバのリストから「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」を選択して、[削除] をクリックします。



6 下図のような画面が表示されたら、[はい] をクリックします。



7 コンピュータを再起動します。
プリンタドライバがコンピュータからアンインストールされます。

プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0

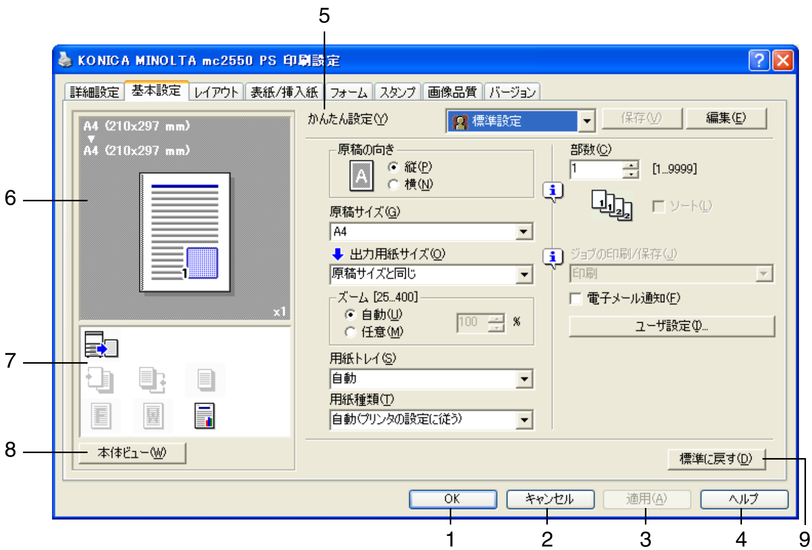
1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**:「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」または「KONICA MINOLTA mc2550 PPD」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- **Windows NT 4.0 の場合**:「KONICA MINOLTA mc2550 PS」または「KONICA MINOLTA mc2550 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」をクリックします。

PostScript ドライバの設定

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

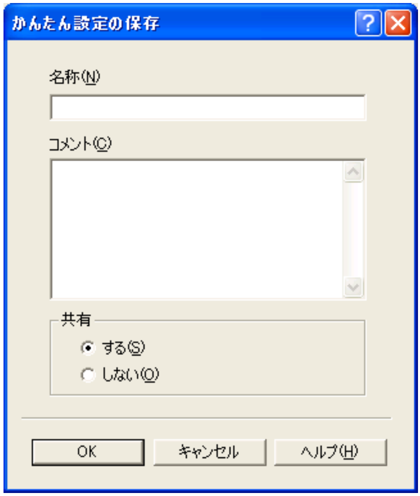
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

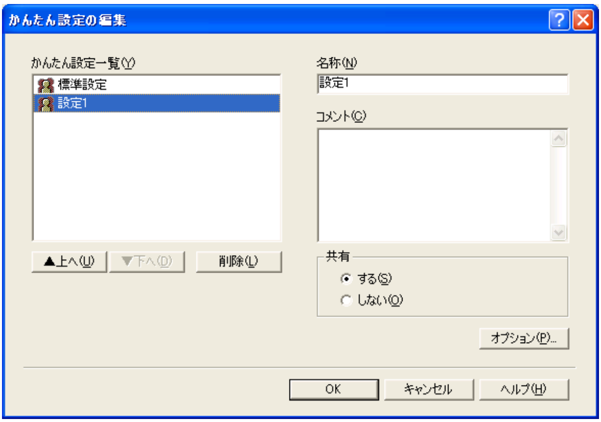
このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力し、保存する設定を共有にするかどうかを設定して、［OK］をクリックします。現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。



また、［編集］をクリックすると、かんたん設定画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。



ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブ、「バージョン」タブには表示されません。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー] ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。

プリンタの外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。

「スタンプ」タブでは、[スタンプビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [スタンプビュー] をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。

「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

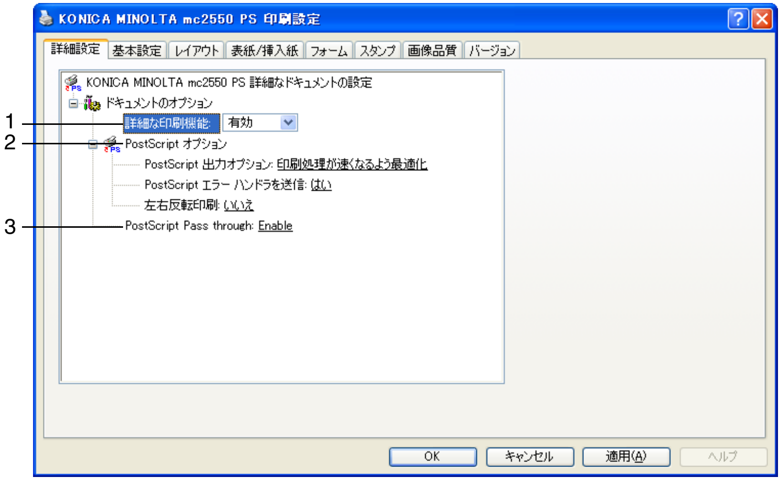
このボタンは、「詳細設定」タブ、「バージョン」タブには表示されません。

9. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブ、「バージョン」タブには表示されません。

「詳細設定」タブ



1. 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

本設定は、プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、「詳細設定」タブにある「詳細な印刷機能を有効にする」チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

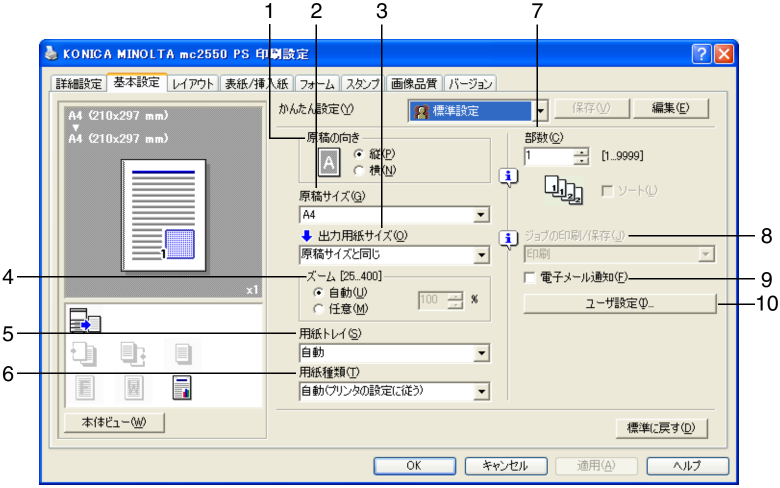
2. PostScript オプション

PostScript 出力オプション：PostScript ファイルの出力形式を設定します。
PostScript エラーハンドラを送信：PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。
左右反転印刷：左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3. PostScript Pass through

アプリケーションがプリンタドライバを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

「基本設定」タブ

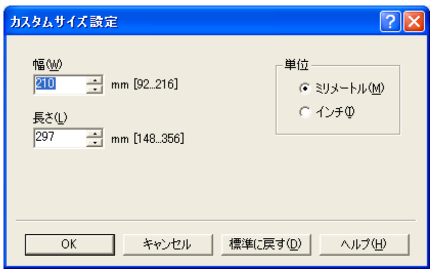


1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

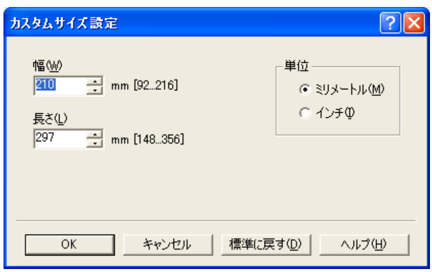
2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。



3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。



4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

6. 用紙種類

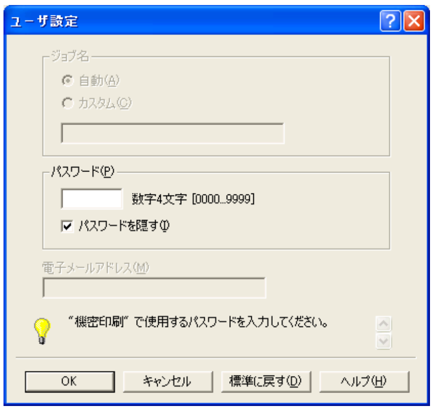
印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. ジョブの印刷 / 保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクを装着している場合のみ有効です。
印刷 : 通常の印刷を行います。
保存 : ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷 : 通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷 : プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。



パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

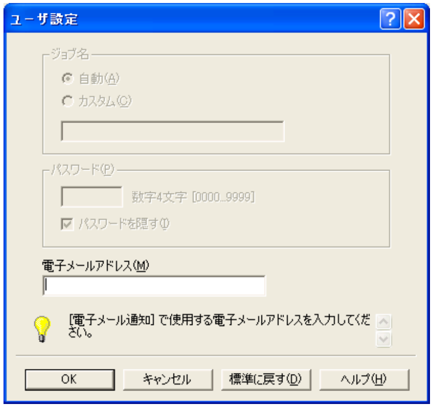
試し印刷 : 1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存 / 印刷メニュー」(p. 96) をごらんください。

電源をオフ / オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

9. 電子メール通知

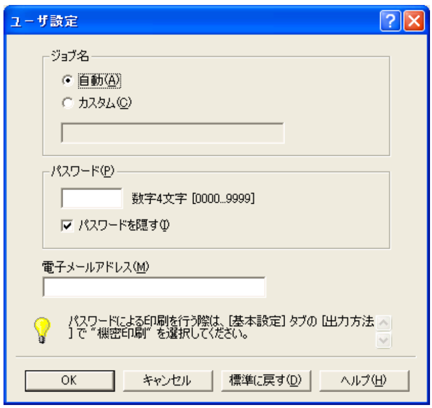
電子メールによる通知を行うかどうかを設定します。「電子メール通知」チェックボックスをチェックすると、ユーザ設定画面が表示されます。送信先のアドレスを設定します。



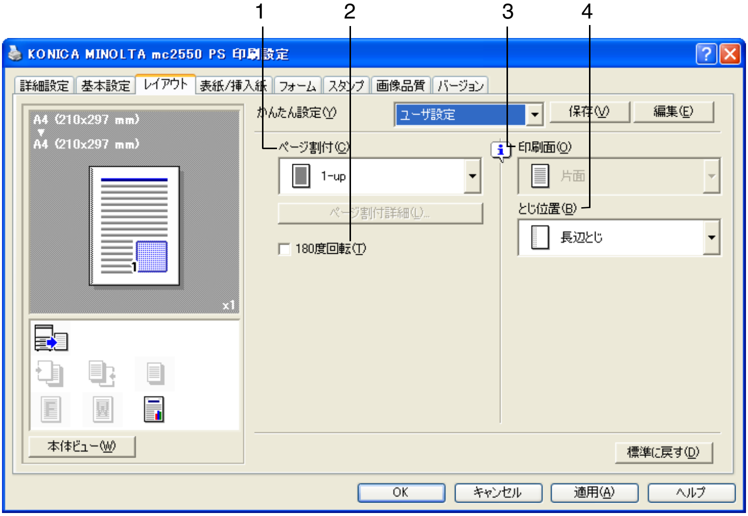
送信先のアドレスがすでに設定されている場合は、「電子メール通知」チェックボックスをチェックしてもユーザ設定画面は表示されません。あらためてアドレスの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

10. ユーザ設定

[ユーザ設定] をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定、電子メール通知のアドレスの設定などを行います。



「レイアウト」タブ

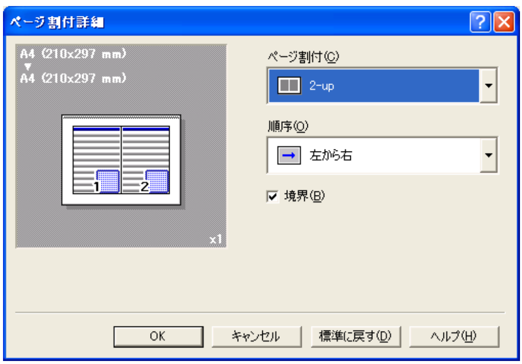


1. ページ割付

複数ページの文書を1ページにまとめて印刷します。

「1-up」以外の設定を選択した場合、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。

［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。



「小冊子」は、オプションの両面プリントユニットを装着し、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷面

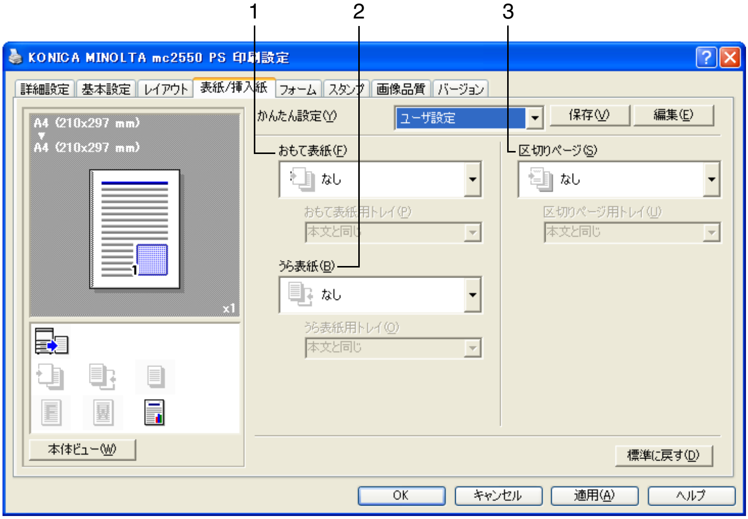
片面印刷か両面印刷かを選択します。

「両面」は、オプションの両面プリントユニットを装着している場合に有効です。

4. とじ位置

とじ位置を「長辺とじ」、「短辺とじ」から選択して設定します。

「表紙 / 挿入紙」タブ



1. おもて表紙

表表紙をつけるかどうかを設定します。
「白紙」を選択した場合は、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

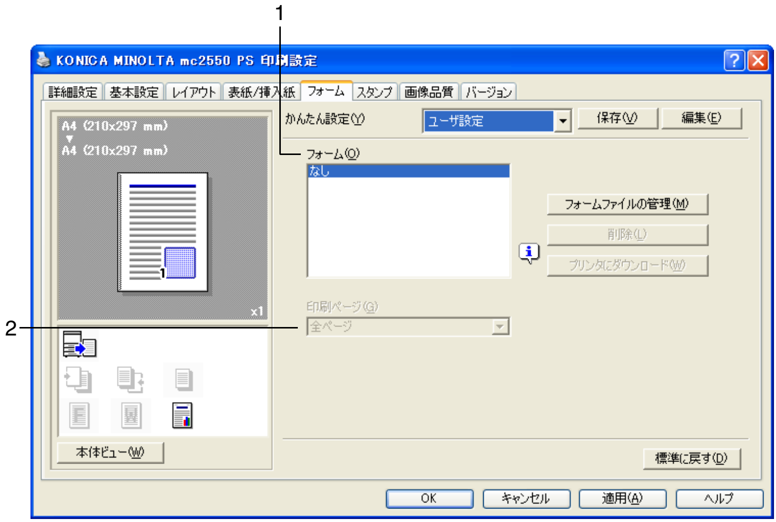
2. うら表紙

裏表紙をつけるかどうかを設定します。
「白紙」を選択した場合は、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。
「部の先頭」、「部の末尾」を選択した場合は、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

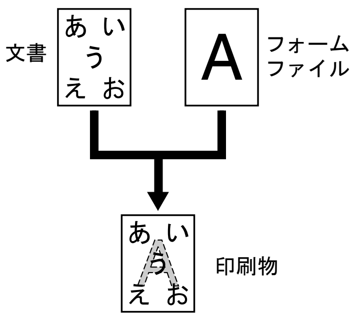
「フォーム」タブ



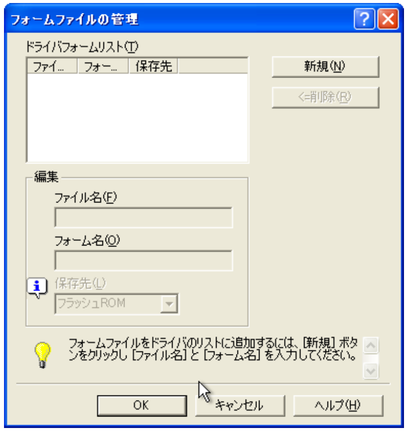
必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。



［フォームファイルの管理］をクリックすると、フォームファイルの管理画面が表示されます。新たに追加するフォームファイルの設定を行います。



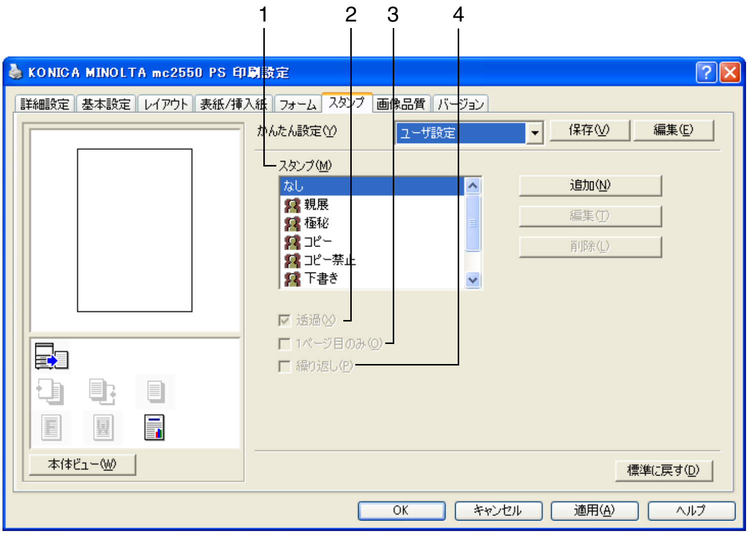
追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。
ダウンロードマネージャをインストールしている場合、［プリンタにダウンロード］ボタンが有効になります。

PostScript ドライバでフォームを印刷する場合、あらかじめプリンタにフォームファイルをダウンロードしておく必要があります。

2. 印刷ページ

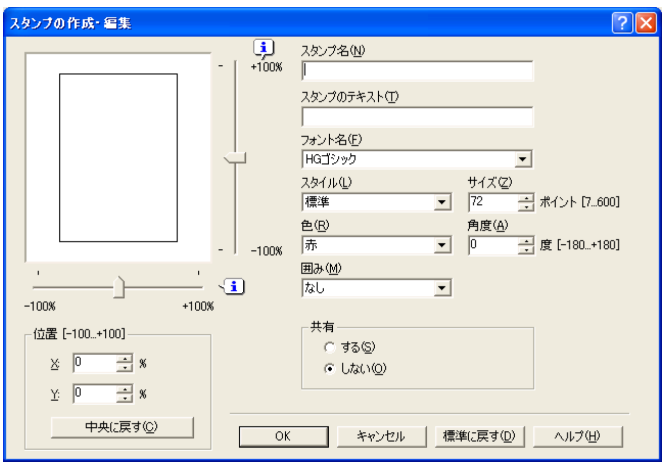
フォームを印刷するページを「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ



1. スタンプ

印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。新たにスタンプを作成します。



作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

2. 透過

「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

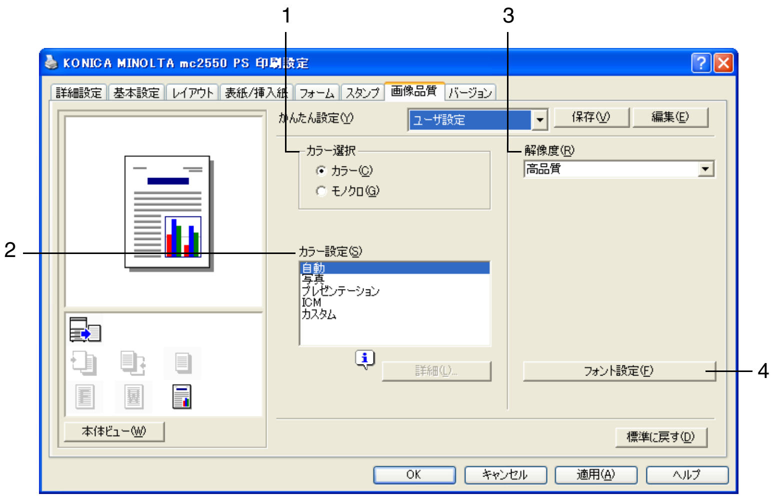
3. 1 ページ目のみ

「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

4. 繰り返し

1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

「画像品質」タブ



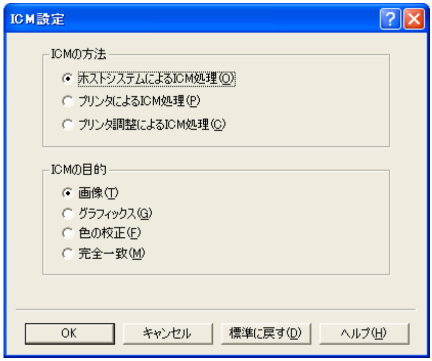
1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

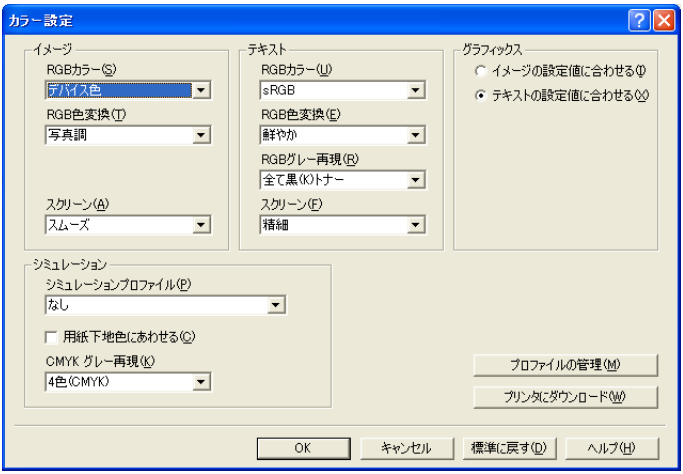
2. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真」、「プレゼンテーション」、「ICM」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。
「ICM」を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。
「ICM」を選択した場合、［詳細］ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。



「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。



カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

- RGB カラー
  イメージ／テキストオブジェクトに関してプリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。
- RGB 色変換
  イメージ／テキストオブジェクトに関してプリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンタで処理するテキストオブジェクトのグレー再現に関して指定します。

■ スクリーン
イメージ／テキストオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

■ イメージの設定値に合わせる／テキストの設定値に合わせる
グラフィックスオブジェクトのカラー設定に関して指定します。

■ シミュレーションプロファイル
インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用するシミュレーションプロファイルを指定します。

■ 用紙下地色にあわせる
シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。

■ CMYK グレー再現
シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。

■ プロファイルの管理
「カラープロファイルの管理」ダイアログボックスを表示します。

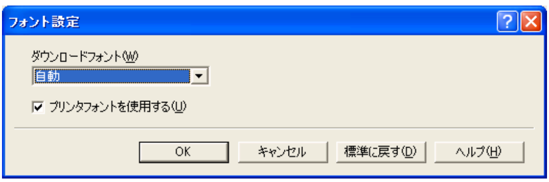
■ プリンタにダウンロード
ダウンロードマネージャーがインストールされている場合に起動します。ダウンロードマネージャーのインストール方法については、「magicolor 2550 インストレーションガイド」をごらんください。

3. 解像度

印刷時の解像度を設定します。

4. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。



フォント設定画面では、TrueType フォントをダウンロードする方法と、印刷時に TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうかを設定します。

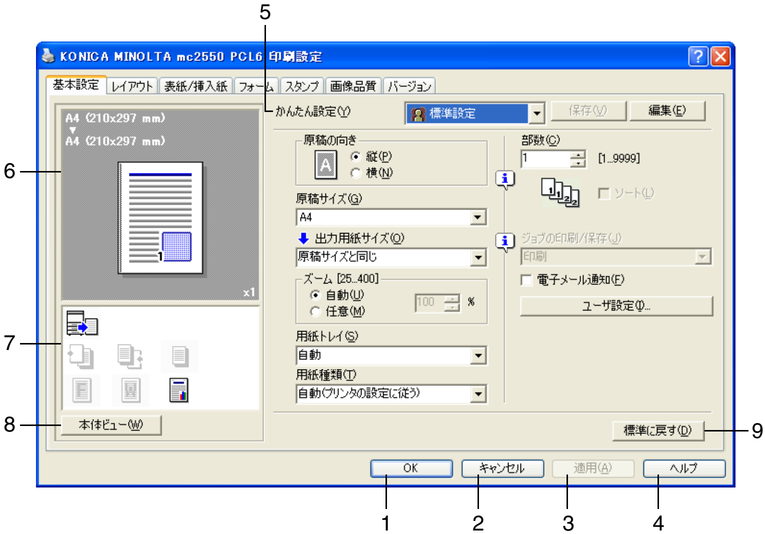
「バージョン」タブ



プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

PCL ドライバの設定

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

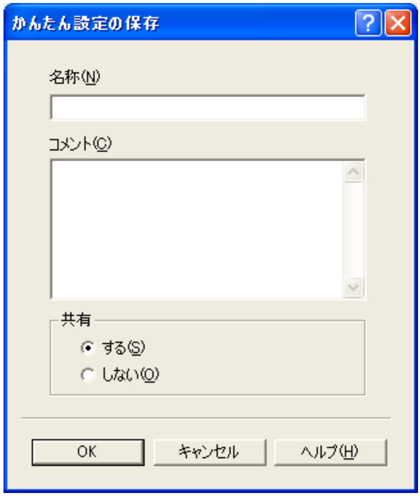
お使いの OS によっては、[適用] ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

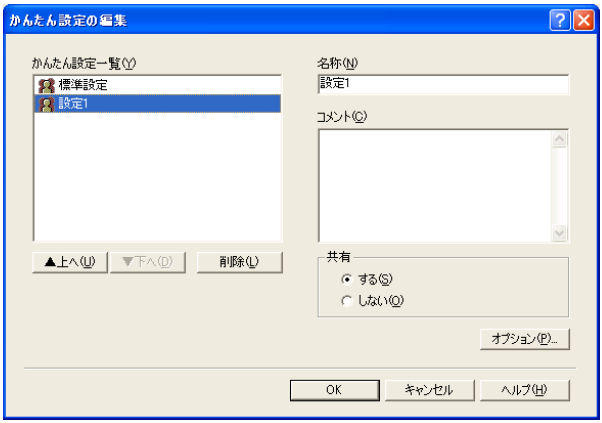
このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力し、保存する設定を共有にするかどうかを設定して、［OK］をクリックします。現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。



また、［編集］をクリックすると、かんたん設定画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。



ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー]ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「スタンプ」タブでは、[スタンプビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [スタンプビュー] をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。
「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

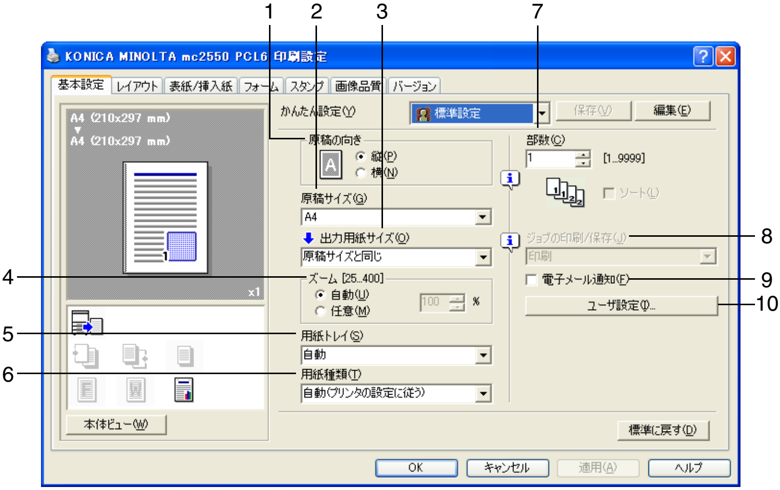
このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

9. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

「基本設定」タブ

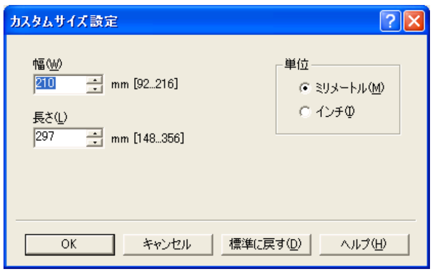


1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

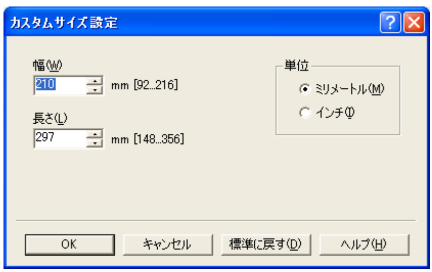
2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。



3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。



4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

6. 用紙種類

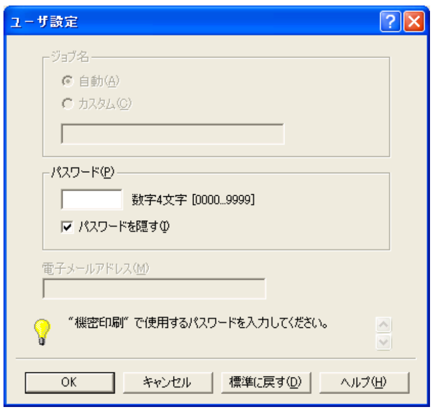
印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. ジョブの印刷 / 保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクを装着している場合のみ有効です。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。



パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

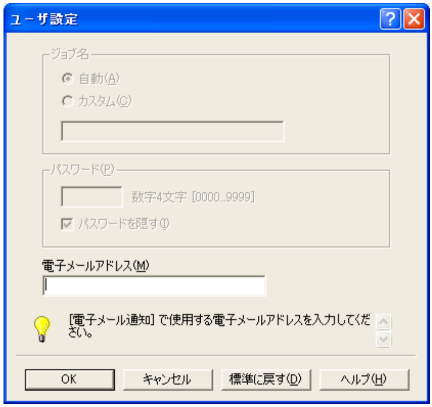
試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存 / 印刷メニュー」(p. 96) をごらんください。

電源をオフ / オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

9. 電子メール通知

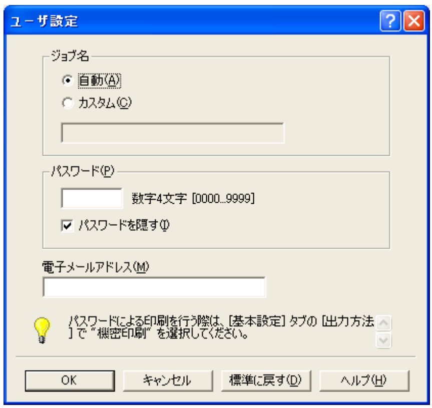
電子メールによる通知を行うかどうかを設定します。「電子メール通知」チェックボックスをチェックすると、ユーザ設定画面が表示されます。送信先のアドレスを設定します。



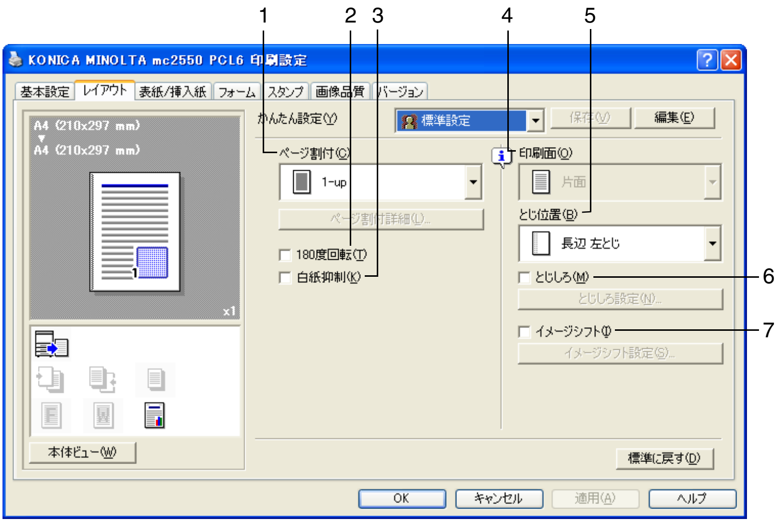
送信先のアドレスがすでに設定されている場合は、「電子メール通知」チェックボックスをチェックしてもユーザ設定画面は表示されません。あらためてアドレスの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

10. ユーザ設定

ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定、電子メール通知のアドレスの設定などを行います。[ユーザ設定] をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。

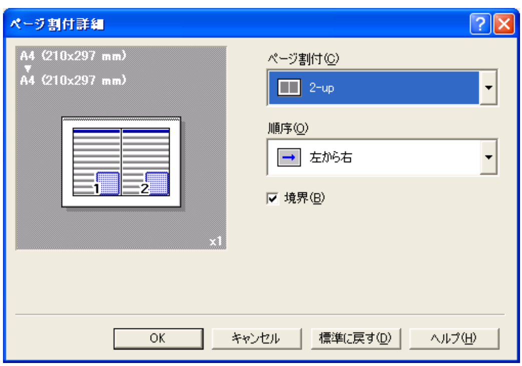


「レイアウト」タブ



1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「1-up」以外の設定を選択した場合、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。



「小冊子」は、オプションの両面プリントユニットを装着している場合に有効です。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 白紙抑制

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4. 印刷面

片面印刷か両面印刷かを選択します。

「両面」は、オプションの両面プリントユニットを装着している場合に有効です。

5. とじ位置

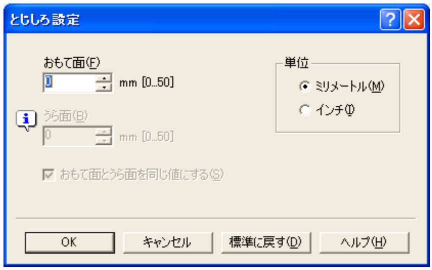
とじ位置を「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」から選択して設定します。

6. とじしろ

とじしろの有無を設定します。

「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定] ボタンが有効になります。

[とじしろ設定] をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。とじしろの幅を 1 ミリ単位または、1/100 インチ単位で設定します。

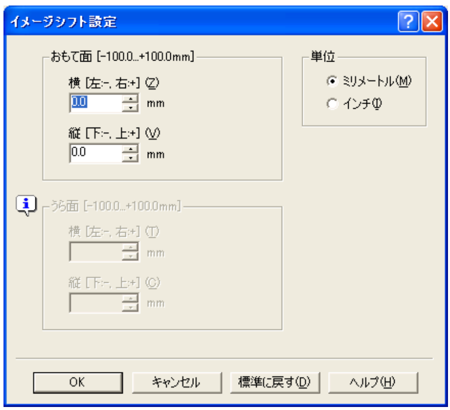


7. イメージシフト

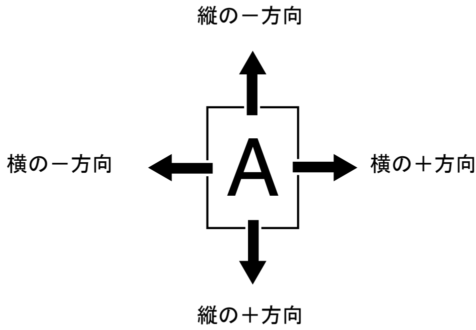
用紙に印刷される文書の位置を設定します。

「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。

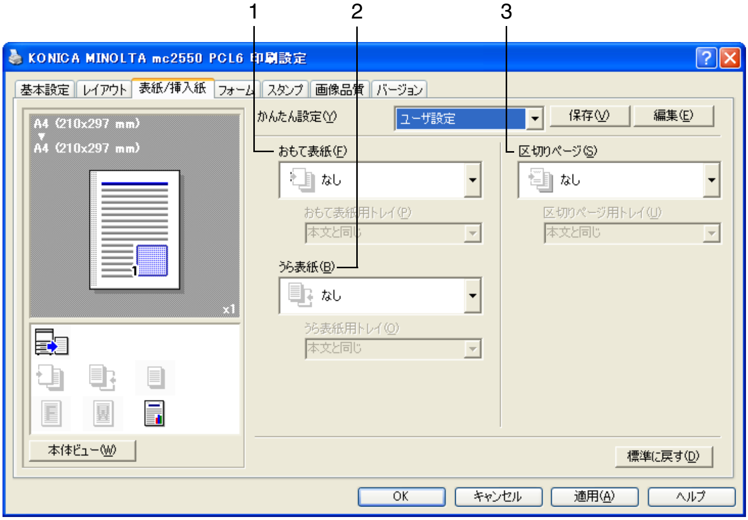
[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 1/10 ミリ単位または、1/100 インチ単位で設定します。



右図を参照してプリント
位置を設定してください。



「表紙 / 挿入紙」タブ



1. おもて表紙

表表紙をつけるかどうかを設定します。
「白紙」、「片面のみ印刷」、「両面に印刷」を選択した場合は、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

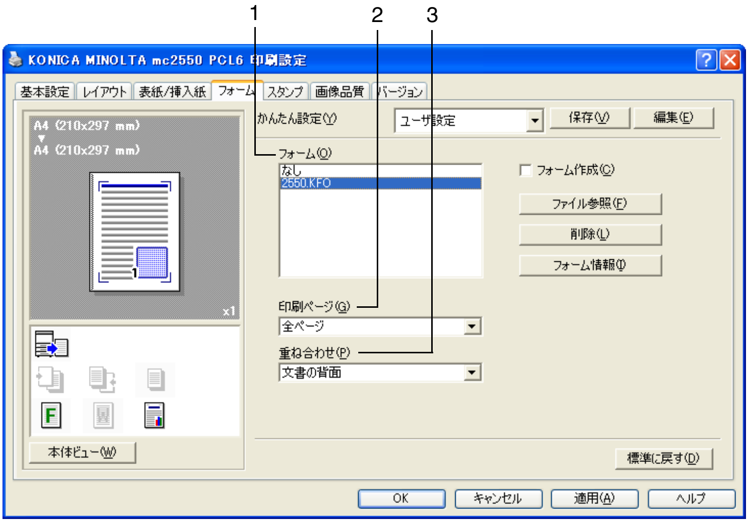
2. うら表紙

裏表紙をつけるかどうかを設定します。
「白紙」」、「片面のみ印刷」、「両面に印刷」を選択した場合は、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

区切りごとに白紙をつけるかどうかを設定します。
「ジョブの先頭」、「部の先頭」、「部の末尾」を選択した場合は、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

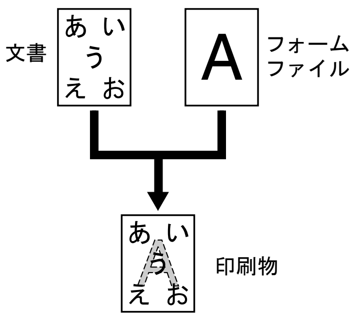
「フォーム」タブ



必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

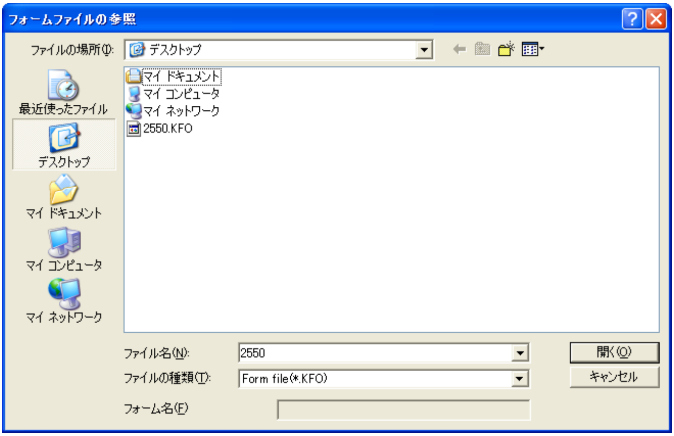
1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。



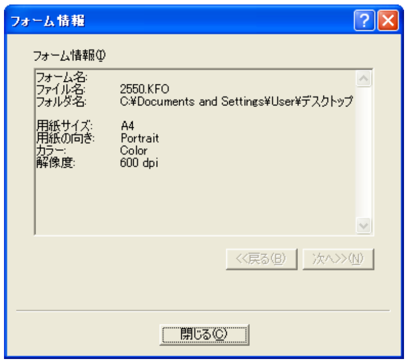
「フォーム作成」チェックボックスをチェックして印刷すると、フォームファイル（拡張子：KFO）が作成されます。作成したフォームファイルは、「フォーム」タブのリストに追加されます。

また、[ファイルの参照] をクリックして表示されるフォームファイルの参照画面でフォームファイルを選択してリストに追加することもできます。



リストからフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、[削除] をクリックします。

[フォーム情報] をクリックすると、フォーム情報画面が表示されます。リスト内のフォームファイルについての情報を確認できます。



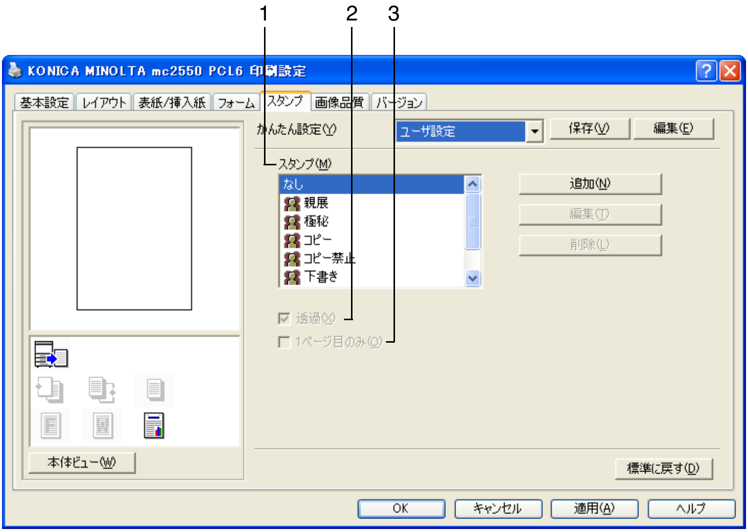
2. 印刷ページ

フォームを印刷するページを「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択して設定します。

3. 重ね合わせ

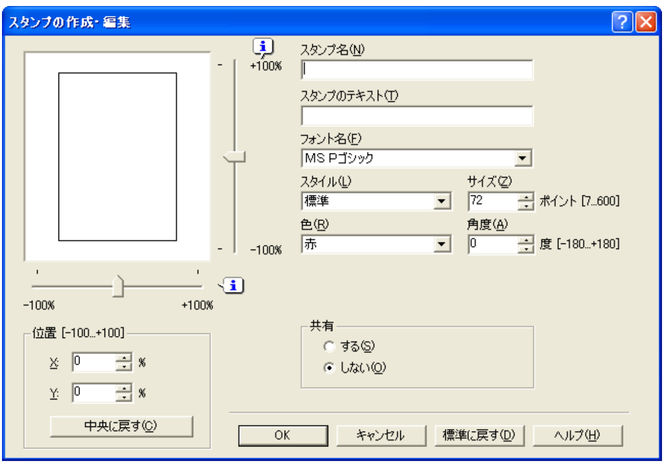
フォームと印刷文書の重ね合わせ方を「文書の背面」、「文書の前面(上書き)」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ



1. スタンプ

印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。
新たにスタンプを作成します。



作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに表示されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

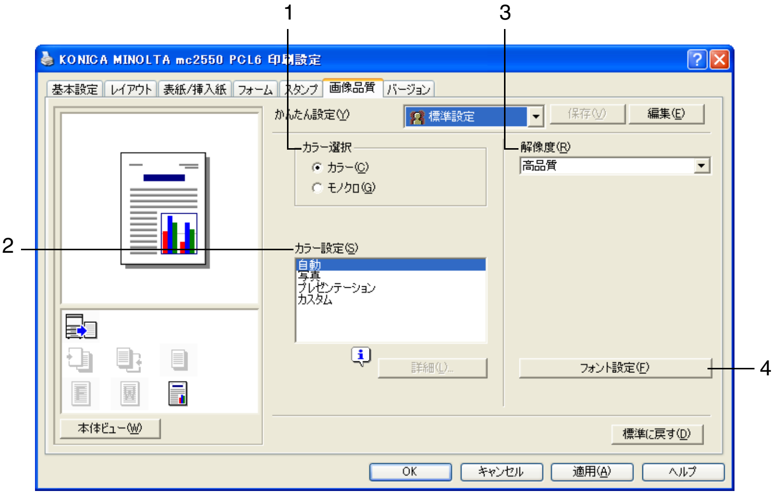
2. 透過

「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

3. 1 ページ目のみ

「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

「画像品質」タブ



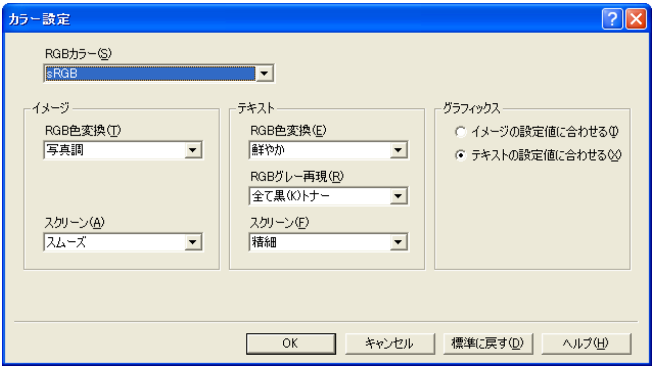
1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真」、「プレゼンテーション」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「カスタム」を選択すると、[詳細] ボタンが有効になります。[詳細] をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。



カラー設定画面では、各オブジェクト(イメージ、テキスト、グラフィック)のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー
プリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ/テキストオブジェクトに関してプリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンタで処理するテキストオブジェクトのグレー再現に関して指定します。

■ スクリーン
イメージ/テキストオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

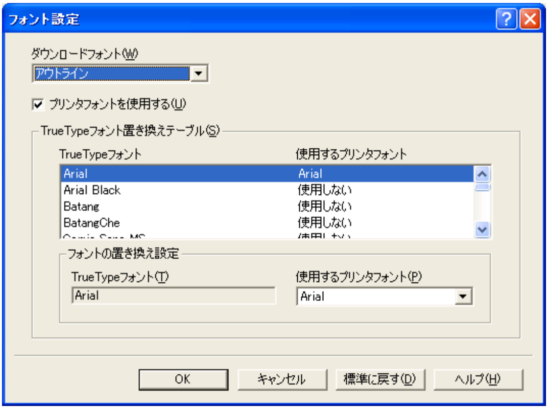
■ イメージの設定値に合わせる/テキストの設定値に合わせる
グラフィックスオブジェクトのカラー設定に関して指定します。

3. 解像度
印刷時の解像度を設定します。

4. フォント設定

フォントについての設定をします。

［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。



フォント設定画面では、TrueType フォントをダウンロードする方法、印刷時に TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうか、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える場合、どのプリンタフォントを使用するかを設定します。

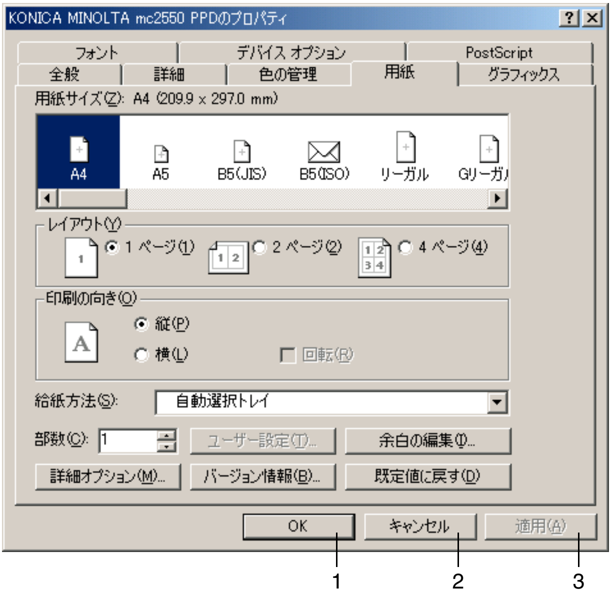
「バージョン」タブ



プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

PPD ファイルの設定（Windows Me/98SE）

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

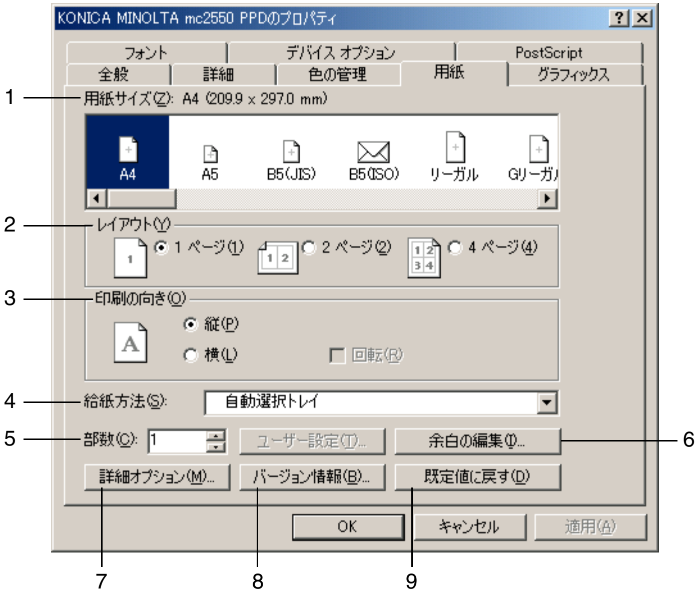
このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

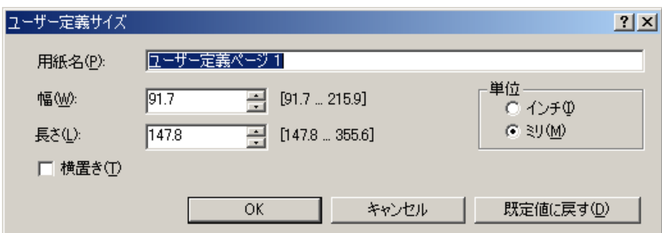
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

「用紙」タブ



1. 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「ユーザー定義ページ」を選択すると、[ユーザー設定] ボタンが有効になります。
[ユーザー設定] をクリックすると、ユーザー定義サイズ画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。



2. レイアウト

ページ内の文書の配置（レイアウト）を設定します。

3. 印刷の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。
「横」を選択した場合、「回転」チェックボックスが有効になります。
「回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

4. 給紙方法

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

5. 部数

印刷する部数を設定します。

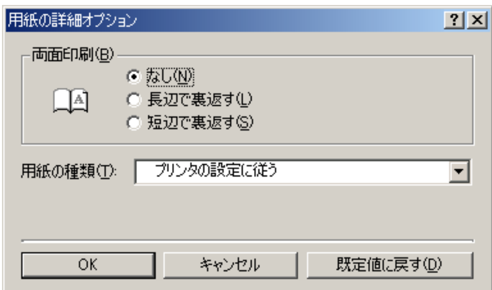
6. 余白の編集

［余白の編集］をクリックすると、余白の編集画面が表示されます。
上下左右の余白（印刷されない領域）を設定します。



7. 詳細オプション

［詳細オプション］をクリックすると、用紙の詳細オプション画面が表示されます。両面印刷をするかしないかと、印刷に使用する用紙の種類を設定します。



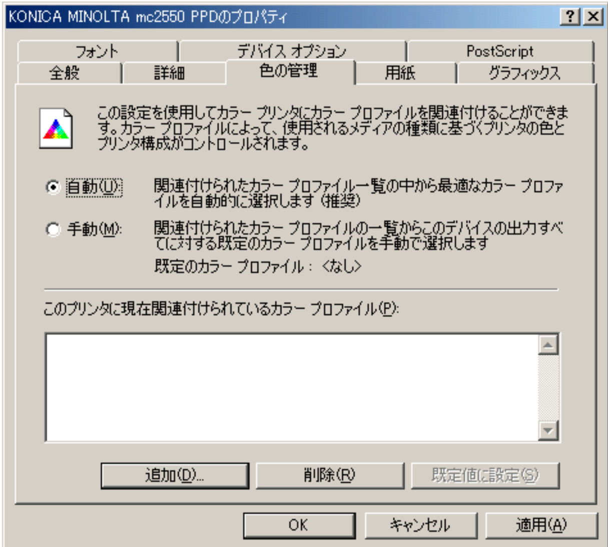
8. バージョン情報

［バージョン情報］をクリックすると、バージョン情報画面が表示されます。

9. 既定値に戻す

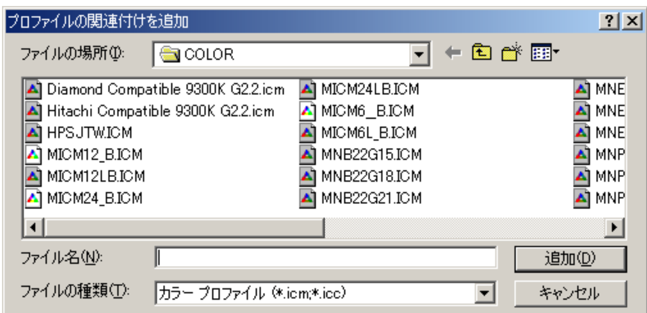
［既定値に戻す］をクリックすると、タブ内の各設定項目の設定値が初期値に戻ります。

「色の管理」タブ



色の管理を自動で行うか手動で行うかを設定します。

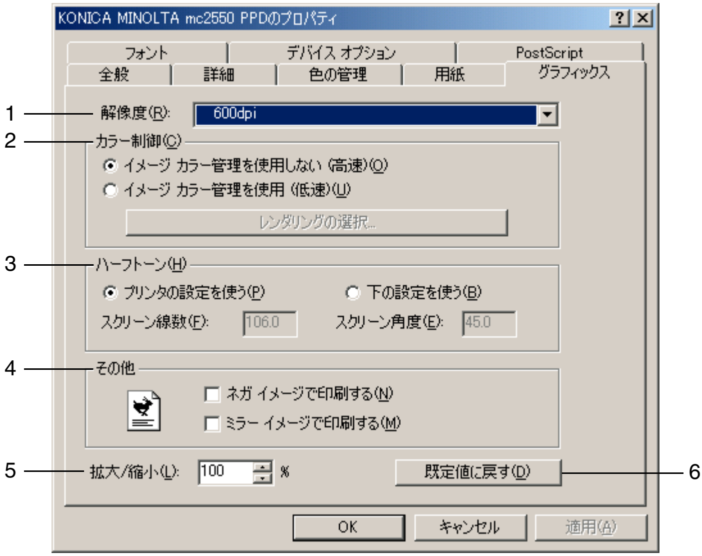
［追加］をクリックすると、プロファイルの関連付けを追加する画面が表示されます。リストに追加するプロファイルを選択します。



リストに追加したプロファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいプロファイルを選択し［削除］をクリックします。

また、リスト内のプロファイルを選択し、［既定値に設定］をクリックすると、選択したプロファイルを規定のプロファイルに設定します。

「グラフィックス」タブ



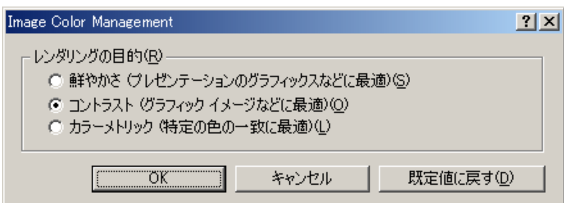
1. 解像度

印刷時の解像度を設定します。

2. カラー制御

カラー調整を行うか行わないかを設定します。「イメージカラー管理を使用（低速）」を選択すると、［レンダリングの選択］ボタンが有効になります。

［レンダリングの選択］をクリックすると、Image Color Management 画面が表示されます。レンダリングの目的を選択して設定します。



3. ハーフトーン

ハーフトーン（網点）を印刷する場合の線数とスクリーン角度を設定します。

ドライバ側で設定する場合は、「下の設定を使う」を選択し、スクリーン線数、スクリーン角度を入力して設定します。

4. その他

「ネガイメージで印刷する」チェックボックスをチェックすると、印刷画像の色合いを反転して印刷します。
「ミラーイメージで印刷する」チェックボックスをチェックすると、印刷画像の左右を反転して印刷します。

5. 拡大 / 縮小

印刷倍率を 25%から 400%の間で設定します。

6. 既定値に戻す

［既定値に戻す］をクリックすると、タブ内の各設定項目の設定値が初期値に戻ります。

「PostScript」タブ



1. PostScript 出力形式

PostScript ファイルの出力形式を設定します。

2. PostScript ヘッダー

プリントジョブごとにヘッダー情報を送信するかどうかを設定します。
［今すぐヘッダーを送信］をクリックすると、ヘッダー情報をプリンタに送信します。

3. PostScript エラー情報を印刷する

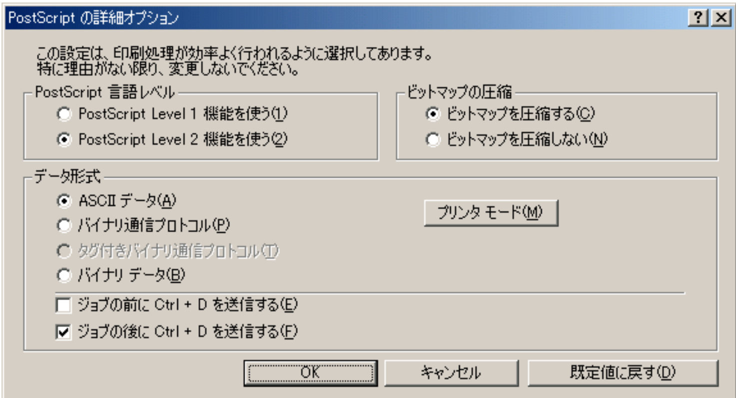
PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。

4. PostScript タイムアウトの値

「ジョブタイムアウト」では、プリントジョブ送信時の送信にかかる時間の制限を設定します。「0」に設定した場合は、制限を設けません。「タイムアウト」では、プリンタが次の PostScript 情報を受け取るまでの待ち時間の制限を設定します。「0」に設定した場合は、制限を設けません。

5. 詳細設定

［詳細設定］をクリックすると、PostScript の詳細オプション画面が表示されます。PostScript 言語レベルなどの設定をします。

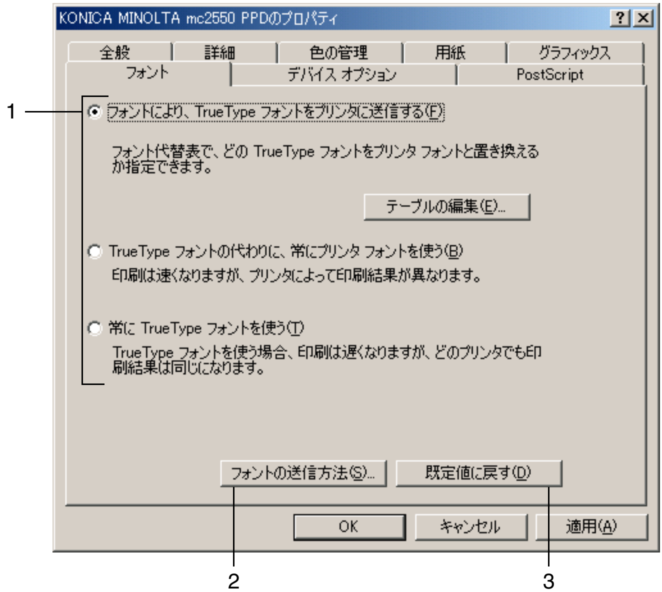


本設定は必要のない限り変更しないでください。

6. 既定値に戻す

［既定値に戻す］をクリックすると、タブ内の各設定項目の設定値が初期値に戻ります。

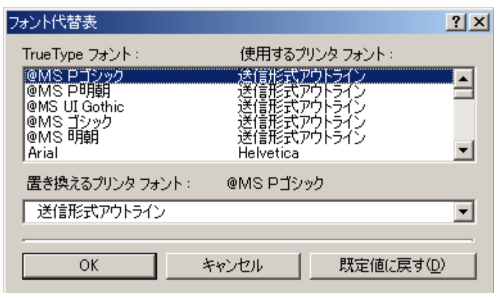
「フォント」タブ



1. フォントの使用方法を選択する

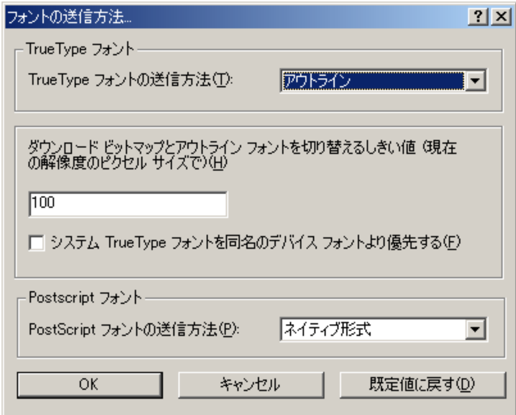
印刷時に TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える方法を選択します。

［テーブルの編集］をクリックすると、フォントの代替表画面が表示されます。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える場合、どのプリンタフォントを使用するかを設定します。



2. フォントの送信方法

［フォントの送信方法］をクリックすると、フォントの送信方法画面が表示されます。TrueType フォント、PostScript フォントの送信方法などを設定します。



3. 既定値に戻す

［既定値に戻す］をクリックすると、タブ内の各設定項目の設定値が初期値に戻ります。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタドライバの機能制限

以下のサーバとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタドライバで持つ機能が一部制限されます。

- サーバとクライアントの組み合わせ
  サーバ　　　：Windows Server 2003/XP/2000
  クライアント：Windows NT 4.0
- 制限される機能
  「小冊子」、「白紙抑制」、「おもて表紙」、「うら表紙」、「区切りページ」、「フォーム作成」、フォームの印刷、「スタンプ」
  ※ PJL の ジョブ名、ユーザ名、ホスト名の 出力

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタドライバをローカルでインストールし、接続先としてサーバにインストールされている共有プリンタを指定してください。

3

Status Monitor（Windows）の使いかた

Status Monitor の使いかた

Status Monitor で、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Status Monitor は Software Utilities CD-ROM からインストールできます。

インストール方法については、「magicolor 2550 インストレーションガイド」をごらんください。

環境

Status Monitor はイーサネットで接続された、Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT 4.0 で使用できます。

Windows NT 4.0 をお使いの場合は、Windows media player（バージョン 6.4 以降）をインストールしてください。

Status Monitor を開く

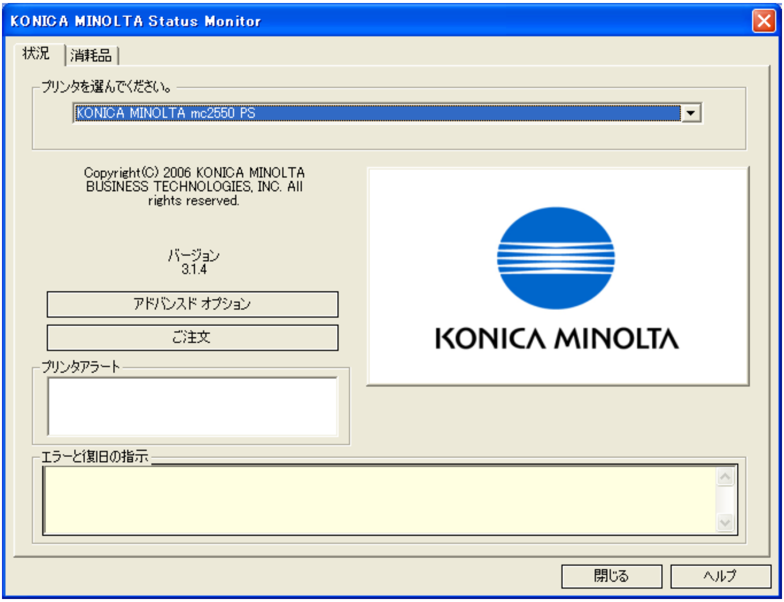
以下の操作で Status Monitor を開きます。

■ **Windows XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示された Status Monitor アイコンをダブルクリックします。

■ **Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示された Status Monitor アイコンをダブルクリックします。

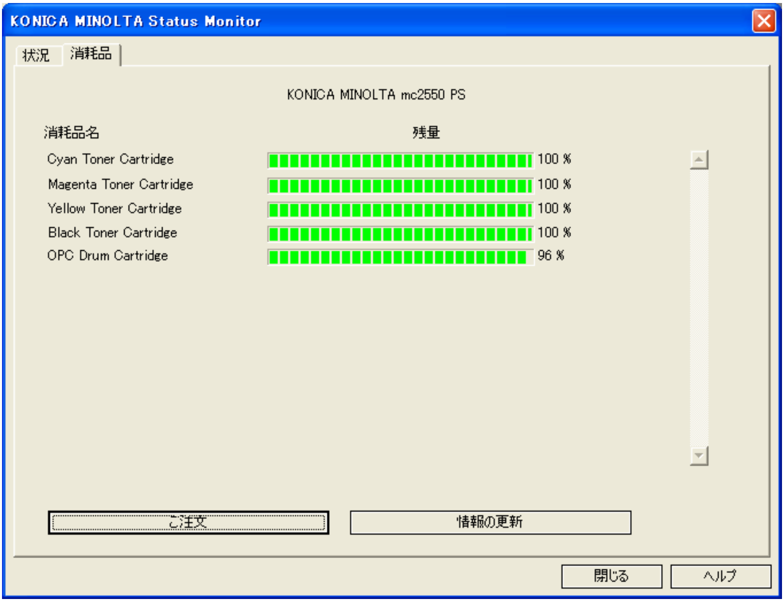
Status Monitor の使いかた

状況タブ



- プリンタ選択 — ステータスを表示するプリンタを選択します。また、ステータスを表示しているプリンタのメッセージウィンドウのメッセージが表示されます。
- **プリンタステータスのイメージ**：KONICA MINOLTA ロゴが表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。プリンタの図が表示され、背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。
- アドバンスドオプション — ［アドバンスドオプション］をクリックすると、アドバンスドオプション画面が表示されます。アドバンスドオプション画面では、OS 起動時に Status Monitor を自動で起動させるか、エラー情報をメールで通知するかなどの設定ができます。
- ご注文 — ［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。
- **プリンタのアラーム**：注意が必要な状態（例：警告：イエロートナー残量少）を知らせるメッセージが表示されます。
- **エラーと復旧の指示**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。

消耗品タブ



各消耗品の現在の状況が表示されます。

■ ご注文 —［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。

■ 情報の更新 — 消耗品の状況を再チェックし表示します。

［ヘルプ］をクリックすると Status Monitor の解説画面が表示されます。あわせてごらんください。

PostScript ドライバまたは PCL ドライバをお使いの場合は、プリンタドライバの設定画面からも、消耗品の現在の状況を確認できます。プリンタドライバの設定画面で「装置情報」タブに表示される［消耗品情報］ボタンをクリックすると、消耗品情報画面が表示されます。

ステータスモニタで表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

Status Monitor の警告の確認

Status Monitor がプリンタの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、橙色または赤色に変わります。

Status Monitor の警告の解除

Status Monitor がプリンタの問題の発生を検知しているときに、タスクバーにある Status Monitor アイコンをダブルクリックして Status Monitor を開きます。Status Monitor には、発生したエラーの内容が表示されます。

Status Monitor を閉じる

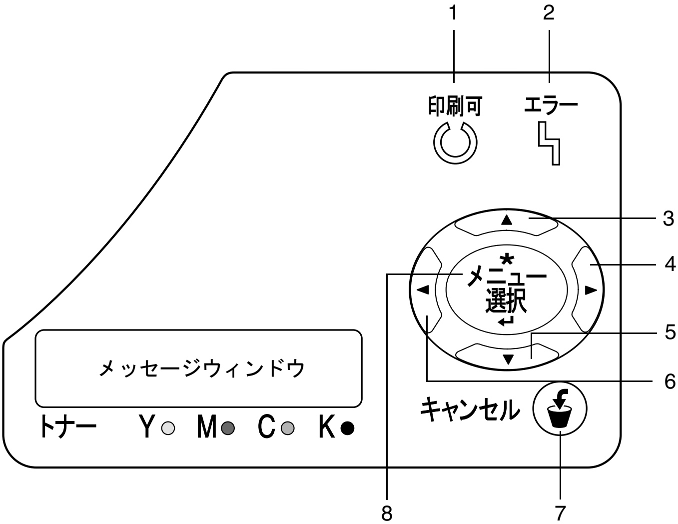
［閉じる］をクリックし Status Monitor の画面を閉じます。Status Monitor を終了する場合は、タスクバーにある Status Monitor アイコンを右クリックし、［終了］をクリックしてください。

操作パネルとメニュー

4

操作パネルについて

プリンタ上部にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウにはプリンタの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



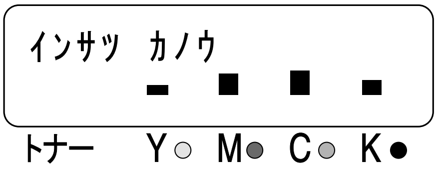
操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	印刷可 	印刷可能（データ受信可能）な状態になっていません。	印刷可能（データ受信可能）な状態です。
2	エラー 	問題なし。	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
3	▲	■ 現在表示されているメニューの上のメニューレベルに戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。
4	▶	■ 表示されているメニュー／設定項目の右のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム右へ移動します。
5	▼	■ 表示中のメニューが選択され、サブメニューまたは設定項目が表示されます。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。
6	◀	■ 表示されているメニュー／設定項目の左のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム左へ移動します。
7	ｷｬﾝｾﾙ	■ 表示中のメニューや、設定変更を取り消します。 ■ 印刷中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルできます。 1.［キャンセル］キーを押します。 2. ◀ または ▶ キーを押して「ｼﾞｮﾌﾞｦｷｬﾝｾﾙｽﾙ / ｶﾚﾝﾄ」または「ｼﾞｮﾌﾞｦｷｬﾝｾﾙｽﾙ / ｽﾍﾞﾃ」を選択します。 3.［メニュー選択］キーを押します。 プリントジョブがキャンセルされます。
8	* メニュー選択 ↵	■ 設定メニューが表示されます。 ■ サブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 表示されている項目が選択されます。

トナー残量の表示について

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各トナーカートリッジのトナー残量はメッセージウィンドウに以下のように表示されます。



操作パネルのメニュー一覧

本プリンタの操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

メインメニュー

- ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
  - ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ*
  - ｲﾝｻﾂ
  - ﾖｳｼ
  - ﾋﾝｼﾂ
  - ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
  - ｼｽﾃﾑ
  - ﾎｼｭ ﾒﾆｭｰ
  - ｹﾞﾝｺﾞ ｷﾘｶｴ

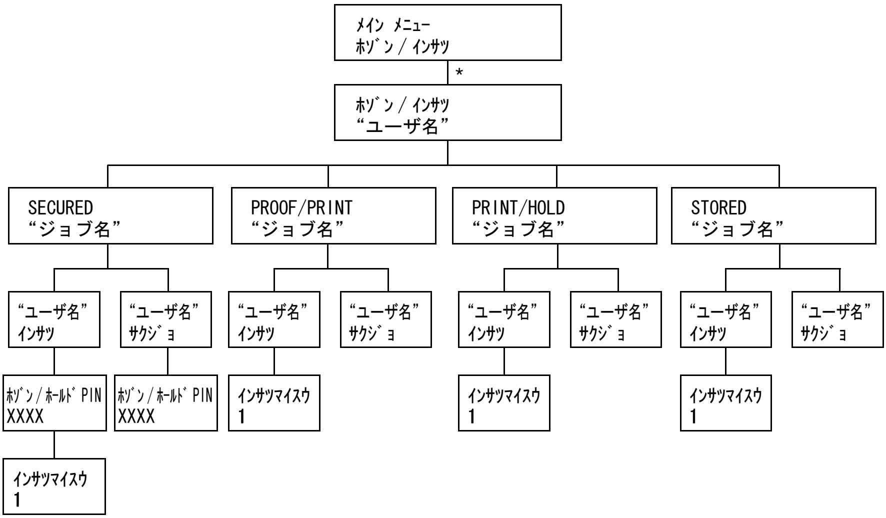
* 本メニューはオプションのハードディスクを装着している場合に表示されます。

保存 / 印刷メニュー

本メニューはオプションのハードディスクを装着している場合に表示されます。

本メニューでは、プリンタドライバの「基本設定」タブにある「ジョブの印刷 / 保存」でハードディスクに保存するように設定されたプリントジョブを印刷するか削除するかを設定できます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。



* ハードディスクにジョブが保存されていない場合、「ﾎｿﾞﾝｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。
** 「保存 / 印刷メニュー」で選択したプリントジョブが「機密印刷」だった場合、プリンタドライバで設定した 4 桁のパスワードを入力してください。パスワードの入力方法については、「パスワードの入力手順」（p.97）をごらんください。

保存ジョブの印刷 / 削除手順

1 以下の手順に従ってジョブを選択します。

押すキー	メッセージウィンドウ
* メニュー選択 ↵	「ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ」
* メニュー選択 ↵	ユーザ名 ハードディスクにプリントジョブが保存されていない場合は、「ﾎｿﾞﾝｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。
◀、▶ 希望するジョブ名が表示されるまで押します。	希望するジョブ名
* メニュー選択 ↵	「ｲﾝｻﾂ」 「ｻｸｼﾞｮ」 選択したプリントジョブがプリンタドライバで「機密印刷」に設定されていた場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワードの入力方法については、「パスワードの入力手順」（p.97）をごらんください。

2 「ｲﾝｻﾂ」または「ｻｸｼﾞｮ」を選択し、［メニュー選択］キーを押します。

「ｲﾝｻﾂ」を選択した場合は、手順 3 へ進んでください。
「ｻｸｼﾞｮ」を選択した場合は、手順 5 へ進んでください。

3 印刷する部数を、キーを押して設定します。（設定値：1 ～ 999、工場出荷時の設定値：1）

4 ［メニュー選択］キーを押します。

5 印刷または削除が実行され、メインメニューに戻ります。

パスワードの入力手順

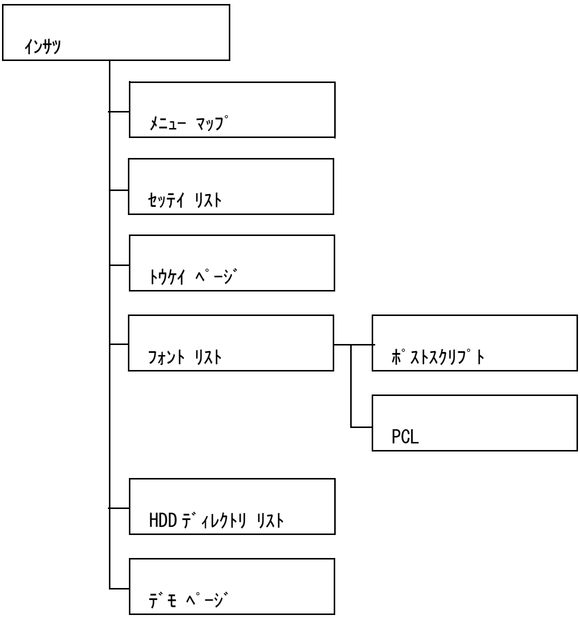
「保存 / 印刷メニュー」で選択したプリントジョブが「機密印刷」だった場合、パスワード入力画面が表示されます。プリンタドライバで設定した 4 桁のパスワードを以下の手順で入力してください。

1 ▲、▼ キーを押し、パスワードの 1 桁目を設定します。
2 ▶ キーを押し、カーソルを 2 桁目へ移動します。
3 ▲、▼ キーを押し、パスワードの 2 桁目を設定します。
4 同様に 4 桁目までのパスワードを設定します。
5 ［メニュー選択］キーを押します。
印刷 / 削除選択画面が表示されます。

入力したパスワードが正しくない場合は、「ﾆｭｳﾘｮｸﾊ ﾑｺｳﾃﾞｽ」と表示され、パスワード入力画面へ戻ります。

印刷メニュー

本メニューでは、統計ページや、デモページなどのプリンタに関する情報を印刷できます。



太字は工場出荷時の設定値を表します。

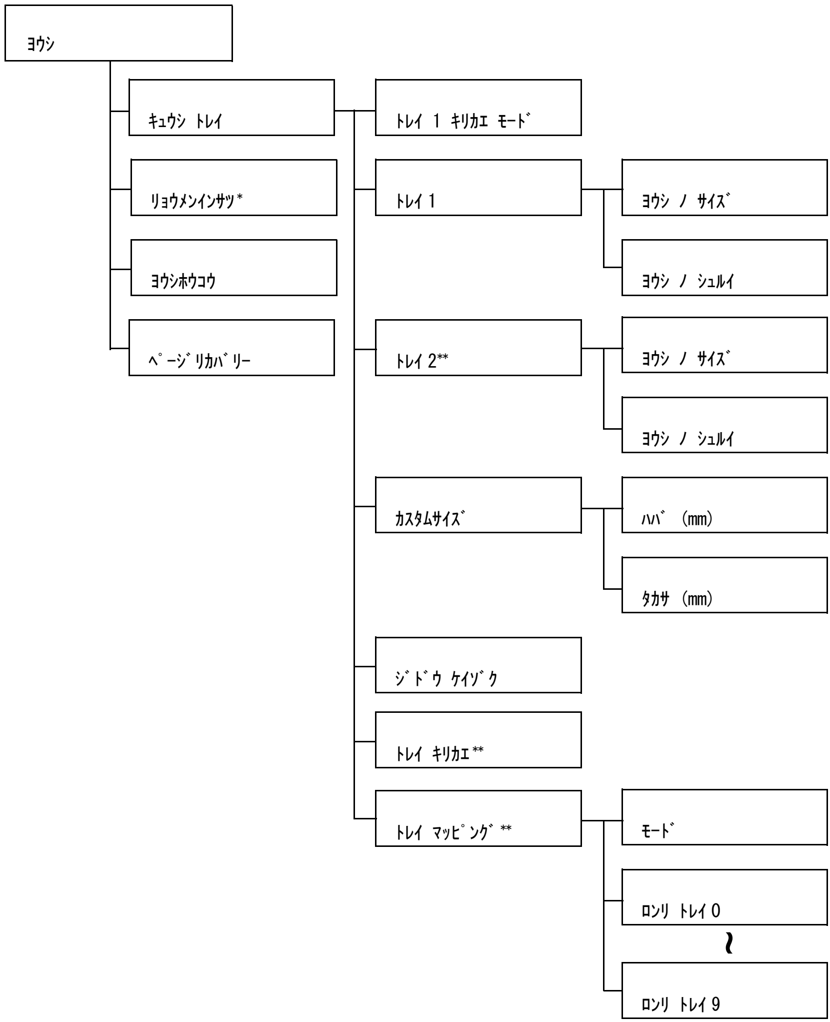
ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
	メニューマップを印刷します。	

ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	設定リストページを印刷します。		
ﾄｳｹｲ ﾍﾟｰｼﾞ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	印刷枚数などの統計ページを印刷します。		
ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		ポストスクリプトのフォントリストを印刷します。	
	PCL	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		PCL のフォントリストを印刷します。	
HDD ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	ハードディスクのディレクトリリストを印刷します。		
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	デモページを印刷します。		

ﾄｳｹｲ ﾍﾟｰｼﾞで表示される消耗品の残量表示および基準換算カバレッジ情報は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

用紙メニュー

本メニューでは、印刷で使用する用紙の管理ができます。



* 本メニューはオプションの両面プリントユニットを装着している場合に表示されます。
** 本メニューはオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

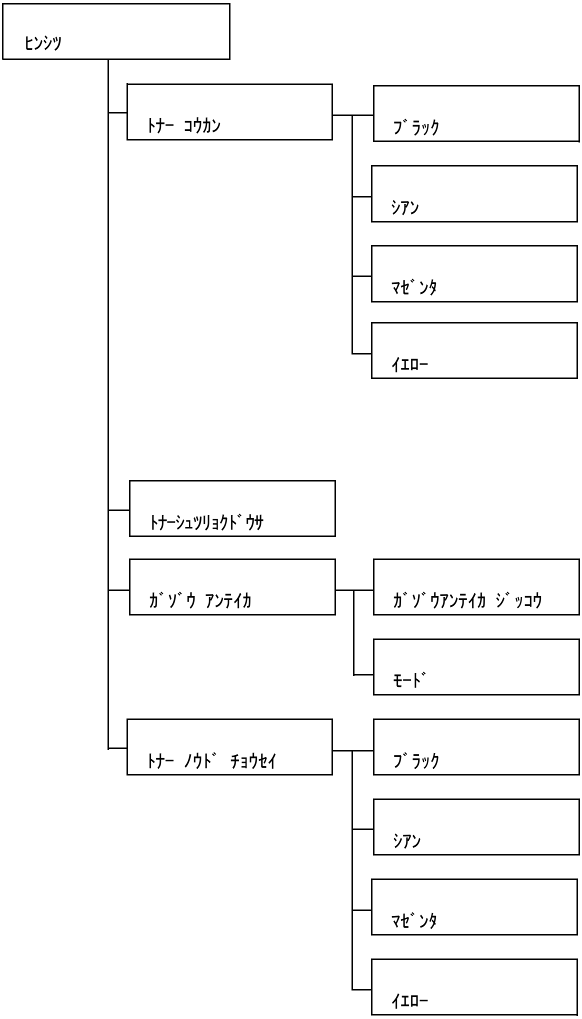
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ	設定		**ｼﾞﾄﾞｳ**/ﾄﾚｲ ﾕｳｾﾝ
		トレイ 1 から印刷する場合の、用紙サイズおよび用紙の種類の設定方法を選択します。 「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択した場合は、プリンタドライバの設定に従って印刷します。 「ﾄﾚｲ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合は、「ﾖｳｼ/ｷｭｳｼﾄﾚｲ/ﾄﾚｲ 1」の「ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ」および「ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ」の設定に従って印刷します。		
	ﾄﾚｲ 1	ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ/ﾘｰｶﾞﾙ/ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/**A4**/A5/B5(JIS)/B5(ISO)/G.ﾚﾀｰ/ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ/Folio/SP Folio/UK ｸｵｰﾄ/Foolscap/G.ﾘｰｶﾞﾙ/ﾌｳﾄｳ#10/ﾌｳﾄｳ C5/ﾌｳﾄｳ C6/ ﾌｳﾄｳ DL/ﾖｳｹｲ6ｺﾞｳ/ﾖｳｹｲ0ｺﾞｳ/ﾁｮｳｹｲ4ｺﾞｳ/ﾊｶﾞｷ/ｶｲ16/32K/ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ/16K/ ﾖｳｹｲ 4 ｺﾞｳ/ﾌｫﾄｻｲｽﾞ/ｶｽﾀﾑ
			トレイ 1 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。	
		ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ	設定	**ﾌﾂｳｼ**/OHPﾌｨﾙﾑ/ﾗﾍﾞﾙ/ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ/ﾌｳﾄｳ/ﾊｶﾞｷ/ｱﾂｶﾞﾐ/ｺｳﾀｸｼ
			トレイ 1 にセットする用紙の種類を選択して設定します。	
	ﾄﾚｲ 2	ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ/**A4**
			トレイ 2 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。	
		ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ	設定	**ﾌﾂｳｼ**/ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ
			トレイ 2 にセットする用紙の種類を選択して設定します。	

	ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ	ﾊﾊﾞ (mm)	設定	92-216 mm
			トレイ１にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙の幅を設定します。	
		ﾀｶｻ (mm)	設定	148-356 mm
			トレイ１にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙の高さを設定します。	
	ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	**ｵﾌ** / ｵﾝ	
		「ｵﾝ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙のサイズまたは種類がプリントジョブの設定と一致しない場合でも印刷を続行します。 「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙のサイズまたは種類がプリントジョブの設定と一致しない場合は印刷を停止します。		
	ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ	
		「ﾊｲ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「ｲｲｴ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。		
	ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ	ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
			トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。	
		ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0-9	設定	**ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 1**/ ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 2
			他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 「ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 2」のみ工場出荷時の設定値が「ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 2」に設定されています。その他はすべて「ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 1」が工場出荷時の設定値です。 「ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 2」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	

ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ	設定	**ｵﾌ** / ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ / ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ
	「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 プリンタドライバでの設定が本メニューの設定より優先されます。 本メニューはオプションの両面プリントユニットを装着している場合に表示されます。	
ﾖｳｼﾎｳｺｳ	設定	**ﾀﾃ** / ﾖｺ
	用紙の向きを設定します。 「ﾀﾃ」に設定した場合は、縦に長い向きで印刷を行います。 「ﾖｺ」に設定した場合は、横に長い向きで印刷を行います。	
ﾍﾟｰｼﾞ ﾘｶﾊﾞﾘｰ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	プリンタが紙づまりから復旧したときに、印刷をやり直すかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、紙づまりしたページの印刷をやり直します。 「ｵﾌ」に設定した場合は、紙づまりしたページの次のページから印刷を続行します。	

品質メニュー

本メニューでは、印刷品質に関する設定ができます。



太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ	ﾌﾞﾗｯｸ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		ブラックトナーカートリッジの交換を行います。 「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、ブラックトナーカートリッジが交換位置へと移動します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.150）をごらんください。	
	ｼｱﾝ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		シアントナーカートリッジの交換を行います。 「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、シアントナーカートリッジの交換位置へと移動します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.150）をごらんください。	
	ﾏｾﾞﾝﾀ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		マゼンタトナーカートリッジの交換を行います。 「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、マゼンタトナーカートリッジの交換位置へと移動します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.150）をごらんください。	
	ｲｴﾛｰ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		イエロートナーカートリッジの交換を行います。 「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、イエロートナーカートリッジの交換位置へと移動します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.150）をごらんください。	

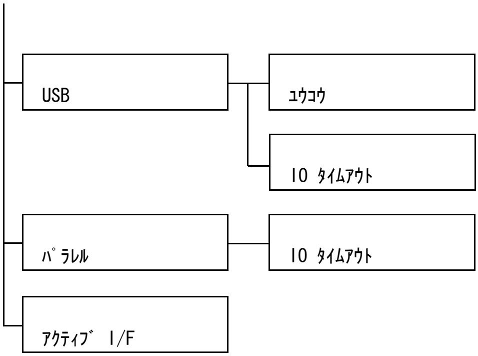
ﾄﾅｰ ｼｭﾂﾘｮｸ ﾄﾞｳｻ	設定	**ﾃｲｼ** / ｹｲｿﾞｸ	
	「ﾃｲｼ」に設定すると、トナーがなくなった時に印刷を停止します。 「ｹｲｿﾞｸ」に設定すると、トナーがなくなっても印刷を続行します。		
ｶﾞｿﾞｳ ｱﾝﾃｲｶ	ｶﾞｿﾞｳｱﾝﾃｲｶ ｼﾞｯｺｳ	設定	**ｲｲｴ** / ﾊｲ
		「ﾊｲ」を選択すると、画質調整が実行されます。	
	ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
		「ｵﾝ」に設定すると、画質調整の機能が有効になります。 「ｵﾌ」に設定すると、画質調整の機能が無効になります。	
ﾄﾅｰ ﾉｳﾄﾞ ﾁｮｳｾｲ	ﾌﾞﾗｯｸ	設定	1/2/**3**/4/5
		ブラックトナーの濃度を 5 段階で設定します。 1 が最も薄く、5 で最も濃くなります。	
	ｼｱﾝ	設定	1/2/**3**/4/5
		シアントナーの濃度を 5 段階で設定します。 1 が最も薄く、5 で最も濃くなります。	
	ﾏｾﾞﾝﾀ	設定	1/2/**3**/4/5
		マゼンタトナーの濃度を 5 段階で設定します。 1 が最も薄く、5 で最も濃くなります。	
	ｲｴﾛｰ	設定	1/2/**3**/4/5
		イエロートナーの濃度を 5 段階で設定します。 1 が最も薄く、5 で最も濃くなります。	

インターフェイスメニュー

本メニューでは、インターフェイスの設定ができます。

「ｲｰｻﾈｯﾄ」メニューの設定を変更した場合は、プリンタを再起動してください。

- ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
  - ｲｰｻﾈｯﾄ
    - TCPIP
      - ﾕｳｺｳ
      - DHCP/BOOTP
      - IP ｱﾄﾞﾚｽ
      - ｹﾞｰﾄｳｪｲ
      - ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
      - HTTP ﾕｳｺｳ
      - ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ
    - IPX/SPX
      - ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
    - ETHERTALK
      - NAME
      - NAME2
      - NETZONE
      - NETZONE2
    - ｽﾋﾟｰﾄﾞ
    - PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ



太字は工場出荷時の設定値を表します。

ｲｰｻﾈｯﾄ	TCPIP	ﾕｳｺｳ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ
			「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。	
		DHCP/ BOOTP	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ
			自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的に取得します。 「ｲｲｴ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的には取得しません。	
		IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	192.168.001.002
			本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 上下左右キーを使って値を入力します。 手動で IP アドレスを設定した場合、DHCP/BOOTP は自動で「ｲｲｴ」になります。	
		ｹﾞｰﾄｳｪｲ	設定	000.000.000.000
			ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。上下左右キーを使って入力します。	

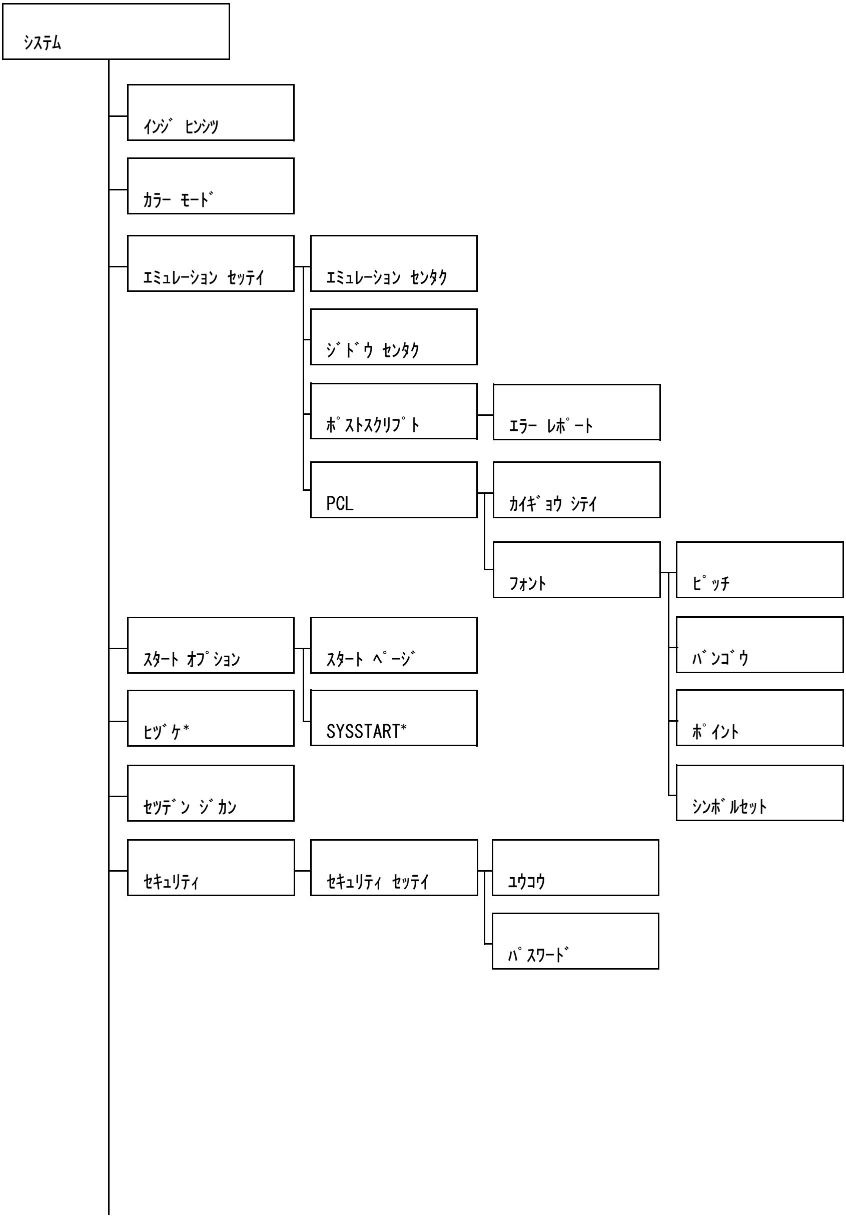
		ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ	設定	000.000.000.000
			ネットワークのサブネットマスク値を設定します。上下左右キーを使って入力します。	
		HTTP ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
			HTTP を有効にするかどうかを選択します。 「ﾊｲ」を選択すると、プリンタに内蔵された HTTP サーバが提供する Web ページが有効になります。 「ｲｲｴ」を選択すると、Web ページは無効になります。	
		ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
			DHCP/BOOTP、PING、ARP が機能していないかレスポンスがない場合に、自動的に IP アドレスを設定するかどうかを選択します。 「ﾊｲ」を選択すると、IP アドレスを自動的に設定します。 「ｲｲｴ」を選択すると、IP アドレスの自動的な設定を行いません。 IP アドレスが DHCP/BOOTP、PING/ARP で取得できない場合、自動 IP を有効にすると、自動的に IP アドレスを取得します。 IP アドレスは、169.254.xxx.xxx の範囲から任意に取得します。	
	IPX/SPX	ﾌﾚｰﾑ ﾀｲﾌﾟ	設定	ｼﾞﾄﾞｳ/802.2/802.3/ETHER II/SNAP
			NetWare 上で使用するプロトコルを設定します。	

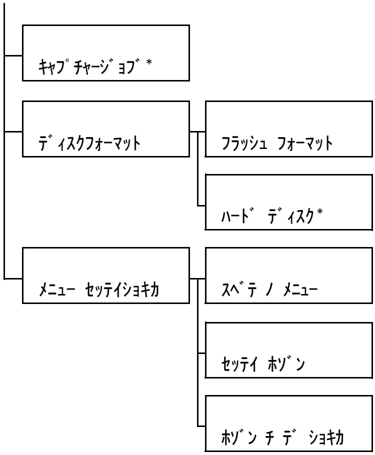
	ETHER TALK	NAME	設定	magicolor 2550
			Macintosh の EtherTalk を使用する場合に表示されるプリンタ名を設定します。 プリンタ名は最大 16 文字です。	
		NAME2	設定	-
			Macintosh の EtherTalk を使用する場合に表示されるプリンタ名を設定します。 プリンタ名は最大 16 文字です。	
		NET ZONE	設定	*
			Macintosh の EtherTalk ゾーン名を設定します。 ゾーン名は最大 16 文字です。	
		NET ZONE2	設定	-
			Macintosh の EtherTalk ゾーン名を設定します。 ゾーン名は最大 16 文字です。	
	ｽﾋﾟｰﾄﾞ	設定	**ｼﾞﾄﾞｳ**/100 FULL DUPLEX/ 100 HALF DUPLEX/ 10 FULL DUPLEX/ 10 HALF DUPLEX	
		ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。		
	PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	設定	**ﾊﾞｲﾅﾘ** / ｸｵｰﾃｯﾄﾞﾊﾞｲﾅﾘ	
		ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します。		
USB	ﾕｳｺｳ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ	
		「ﾊｲ」に設定すると、USB が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、USB が無効になります。		
	IO ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	0-**60**-999	
		USB を使用して受信中のプリントジョブのタイムアウトの時間を設定できます。		
ﾊﾟﾗﾚﾙ	IO ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	0-**30**-999	
		パラレルを使用して受信中のプリントジョブのタイムアウトの時間を設定できます。		

ｱｸﾃｨﾌﾞ I/F	設定	**ｲｰｻﾈｯﾄ / ﾊﾟﾗﾚﾙ**
	使用するインターフェイスを設定します。 イーサネットとパラレル接続を同時に使用することはできません。	

システムメニュー

本メニューでは、メッセージウィンドウに表示する言語や、節電モードに移行するまでの時間など、プリンタの動作に関する設定ができます。





* 本メニューはオプションのハードディスクを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">ｲﾝｼﾞ ﾋﾝｼﾂ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｺｳﾋﾝｼﾂ / ﾋｮｳｼﾞｭﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷の品質を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶﾗｰ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｶﾗｰ / ﾓﾉｸﾛ</td></tr>
<tr><td colspan="3">フルカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ</td><td rowspan="2">ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳ/ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ/PCL5/PCL XL/HEX DUMP/PDF</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタ制御言語を選択します。
「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択した場合は、プリンタが受信したプリントジョブから自動的にプリンタ制御言語を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>PCL5/ ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ」で「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択した状態で、受信したプリントジョブからプリンタ記述言語を特定できない場合に使用する言語を設定します。</td></tr>
</table>

	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ	
			ポストスクリプトエラーが発生した時に、エラーページを印刷するかしないかを設定できます。 「ｵﾝ」に設定した場合は、エラー発生時にエラーページを印刷します。		
	PCL	ｶｲｷﾞｮｳ ｼﾃｲ	設定	CR=CR LF=CRLF/ CR=CR LF=LF/ CR=CRLF LF=LF/ CR=CRLF LF=CRLF	
			PCL 言語での改行コードの定義を選択します。		
		ﾌｫﾝﾄ	ﾋﾟｯﾁ	設定	44-1000-9999
				PCL 言語でのビットマップフォントサイズを設定します。	
			ﾊﾞﾝｺﾞｳ	設定	0-32767
				PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。フォントリストの印刷については、「印刷メニュー」（p.98）をごらんください。	
			ﾎﾟｲﾝﾄ	設定	400-1200-99975
				PCL 言語でのアウトラインフォントサイズを設定します。	
			ｼﾝﾎﾞﾙ ｾｯﾄ	PCL 言語で使用するシンボルセットを選択します。 工場出荷時の設定値は PC 8 に設定されています。	

ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ	ｽﾀｰﾄﾍﾟｰｼﾞ	設定	ｲｲｴ / ﾊｲ	
		プリンタの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。 「ｲｲｴ」に設定した場合は、スタートページの印刷を行いません。 「ﾊｲ」に設定した場合は、スタートページの印刷を行います。		
	SYSSTART	設定	ｲｲｴ / ﾊｲ	
		プリンタの電源を入れたときにポストスクリプトフォーマット定義ファイルを適用するかどうかを設定します。 「ｲｲｴ」に設定した場合は、ポストスクリプトフォーマット定義ファイルを適用しません。 「ﾊｲ」に設定した場合は、ポストスクリプトフォーマット定義ファイルの適用します。		
ﾋﾂﾞｹ	設定	yyyymmdd:hhmmss		
	オプションのハードディスクに内蔵されている時計の日付を設定します。 日付は年、月、日、時、分、秒の順の設定になっています。			
ｾｯﾃﾞﾝ ｼﾞｶﾝ	設定	15 ﾌﾝｺﾞ /30 ﾌﾟﾝｺﾞ /1 ｼﾞｶﾝｺﾞ		
	節電モードへ移行するまでの時間を設定します。			
ｾｷｭﾘﾃｨ	ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ	ﾕｳｺｳ	設定	ｵﾌ / ｵﾝ
			メニュー操作のパスワード保護を設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、すべてのメニューをパスワードで保護します。	
		ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	設定	SYSADMIN
			メニュー操作を保護するパスワードを設定します。このパスワードは、「ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」を「ｵﾝ」にした場合に有効になります。 パスワードは最大 16 文字です。	

<table>
<tr><td rowspan="2">ｷｬﾌﾟﾁｬｰｼﾞｮﾌﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">**ｵﾌ**／ｵﾝ／ｲﾝｻﾂ</td></tr>
<tr><td colspan="3">受信したプリントジョブをハードディスクに保存するかどうかを設定します。

「ｵﾌ」に設定した場合は、プリントジョブをハードディスクに保存しません。

「ｵﾝ」に設定した場合は、プリントジョブをハードディスクに保存し、印刷は行いません。

「ｲﾝｻﾂ」に設定した場合は、プリントジョブをハードディスクに保存し、同時に印刷を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄ</td><td rowspan="2">ﾌﾗｯｼｭ ﾌｫｰﾏｯﾄ</td><td>設定</td><td>**ｲｲｴ**／ﾊｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラッシュ RAM の初期化を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ</td><td>設定</td><td>**ｲｲｴ**／ﾊｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスクの初期化を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｼｮｷｶ</td><td rowspan="2">ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾒﾆｭｰ</td><td>設定</td><td>**ｲｲｴ**／ﾊｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">すべてのメニュー項目の設定を初期値に戻します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｾｯﾃｲ ﾎｿﾞﾝ</td><td>設定</td><td>**ｲｲｴ**／ﾊｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">変更したすべてのメニュー項目の設定を保存します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾎｿﾞﾝ ﾁ ﾃﾞ ｼｮｷｶ</td><td>設定</td><td>**ｲｲｴ**／ﾊｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">すべてのメニュー項目を、「ｾｯﾃｲ ﾎｿﾞﾝ」で最後に保存した設定に変更します。</td></tr>
</table>

保守メニュー

本メニューは、サービス技術者がプリンタの調整や、メンテナンスのために使用するメニューです。ユーザは使用しません。

言語切り替えメニュー

ENGLISH/FRANCAIS/DEUTSCH/ESPANOL/ITALIANO/PORTUGES/Nederlands/CESKY/**ﾆﾎﾝｺﾞ**	メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。初期設定は「ﾆﾎﾝｺﾞ」です。

用紙の取り扱い

5

使用できる出力用紙サイズ

本プリンタでは以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ*	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1	×
B5（JIS）	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1	×
B5（ISO）	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	1	×
エグゼクティブ	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	1	×
Folio	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0	1	○
Foolscap	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1	○
カイ 16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1	×
カイ 32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1	×
16K	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	1	×
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1	○
G リーガル	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0	1	○
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2	○
SP Folio	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1	○
G レター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1	×
ステートメント	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5	1	×
UK クオート	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1	×
ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1	×
封筒 C5	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0	1	×
封筒 DL	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7	1	×
封筒 #10	104.8 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×
封筒 C6	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4	1	×
封筒 洋形 6 号	98.4 × 190.5	3.875 × 7.5	1	×
封筒 #3	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×
封筒 洋形 4 号	105.0 × 235.0	4.1 × 9.3	1	×
封筒 #4	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	1	×
フォトサイズ 4×6"	102.0 × 152.0	4.0 × 6.0	1	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ*	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
フォトサイズ 10×15	102.0 × 152.0	4.0 × 6.0	1	×
カスタムサイズ（最小値）	92.0 × 148.0	3.6 × 5.9	1	×**
カスタムサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	○
備考 : * トレイ 1 は汎用、トレイ 2 は普通紙およびレターヘッドのみに対応 ** 両面印刷が可能な最小サイズは、92.0 × 276.0mm です。				

厚紙、光沢紙、OHP フィルムは、A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズのみサポートしています。

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。
普通紙（再生紙）、レターヘッドの最小値は 92.0 × 198.0 mm、封筒、光沢紙、ラベル紙、ハガキ、厚紙、OHP フィルムの最大値は 216.0 × 297.0 mm となります。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本プリンタで利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります。）
	トレイ 2（オプション）	500 枚（用紙の厚さにより変わります。）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m²	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  ・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙	
坪量	91 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

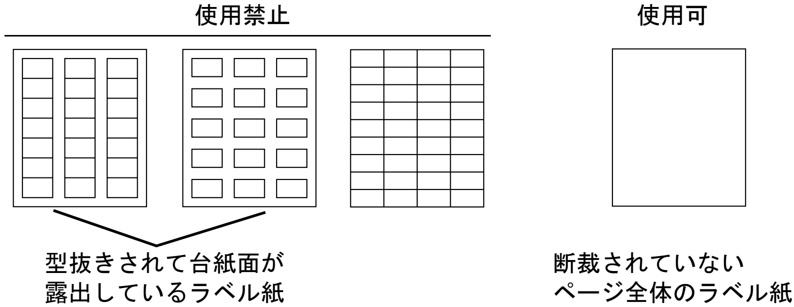
以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙



レターヘッド

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。	

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ハガキ	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ 官製はがき（100 × 148 mm）
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

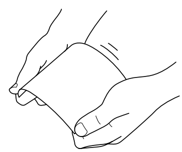
■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

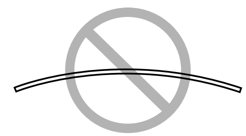
■ 切り込みやミシン目のあるはがき

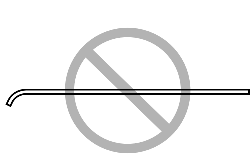
■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.163）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません	

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	光沢紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

以下のような光沢紙は使用しないでください。

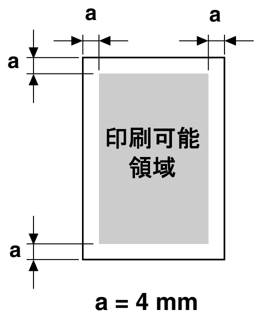
■ インクジェットプリンタ用のもの

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。



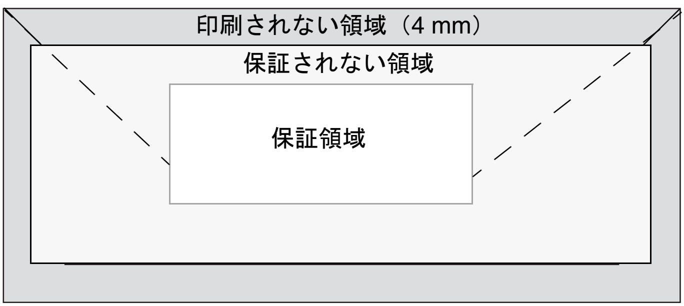
リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、用紙の後端の余白が 17 mm になります。

光沢紙に印刷する場合は、用紙の先端の余白が 10 mm になります。

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

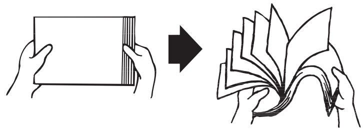
封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。



OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

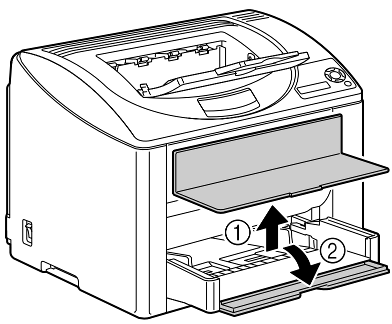
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（多目的トレイ）

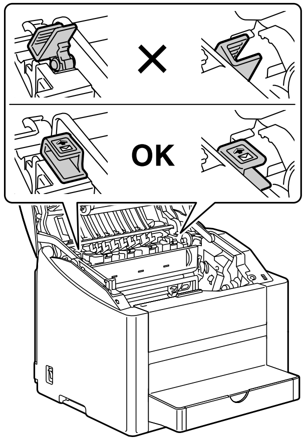
トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。

普通紙の場合

1 トレイ 1 のふたを取りはずし、前面パネルを開きます。

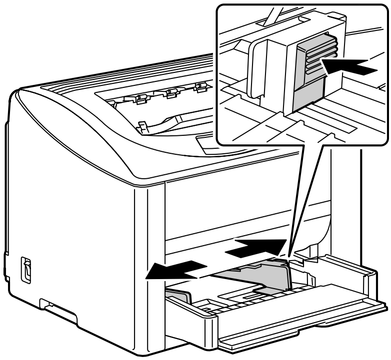


左右の定着離間レバーが起き上がった状態（封筒印刷位置）になっていないことを確認します。

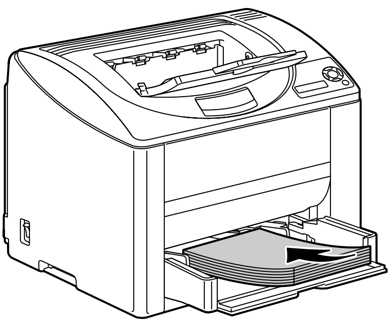


2 用紙ガイドを広げます。

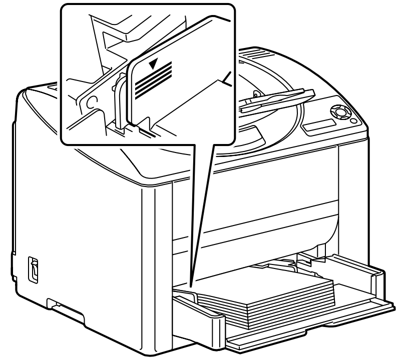
用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。



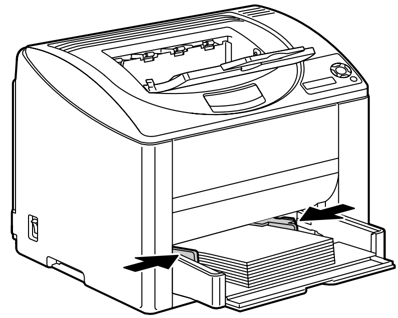
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



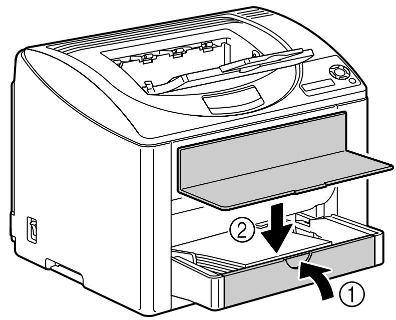
用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。



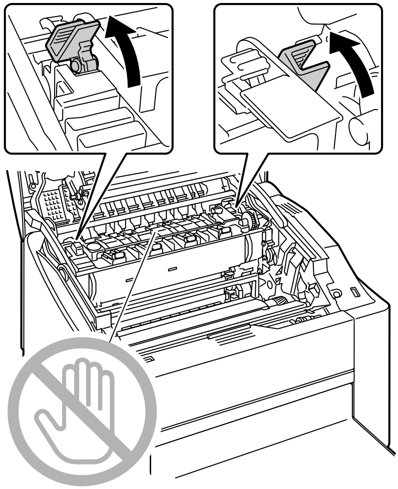
4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



5 トレイ 1 の前面カバーを閉じ、ふたを取り付けます。



本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。

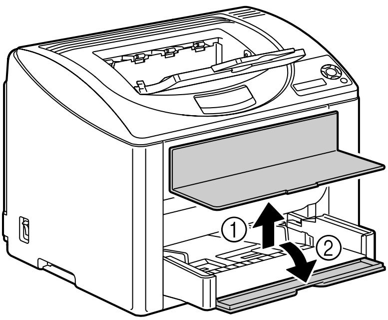


その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、OHP フィルムなど）

封筒の場合

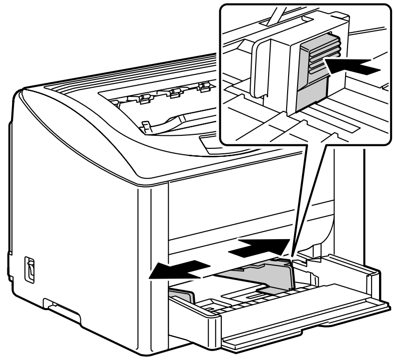
1 トレイ 1 のふたを取りはずし、前面パネルを開きます。



2 用紙ガイドを広げます。



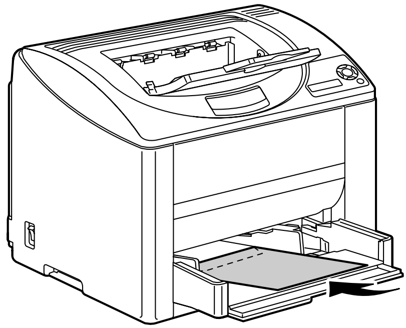
用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。



3 フタを下側にして封筒をセットします。



セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

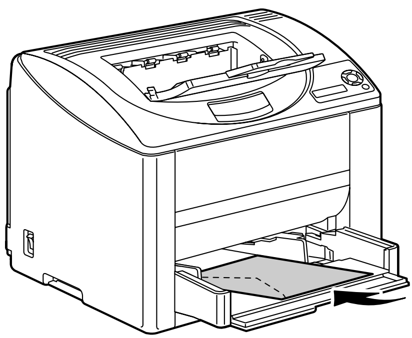




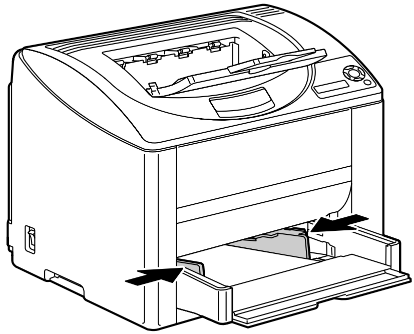
封筒は一度に 10 枚までセットできます。



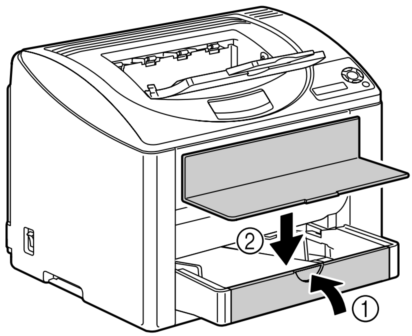
フタが封筒の長辺にある場合はフタを左側にしてセットしてください。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



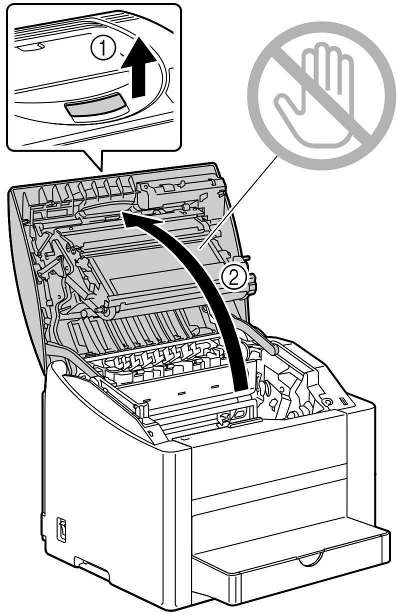
5 トレイ 1 の前面カバーを閉じ、ふたを取り付けます。



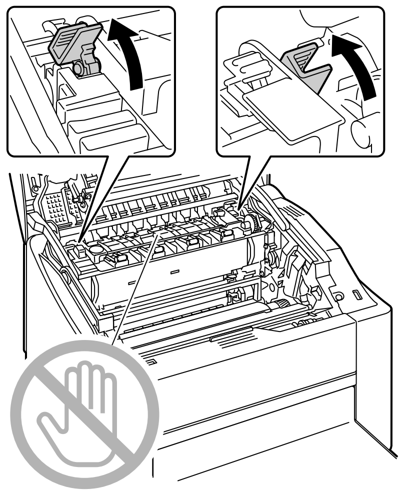
6 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



7 左右の定着離間レバーを起こします（封筒印刷位置にセットします）。

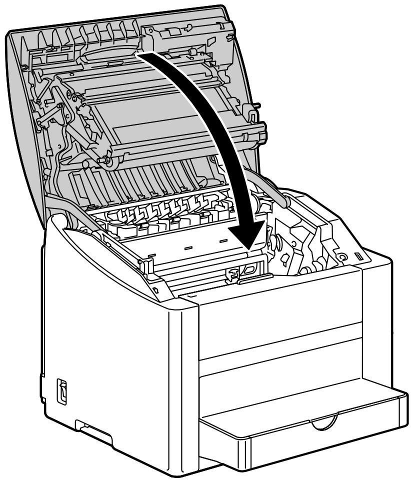


⚠ 注意

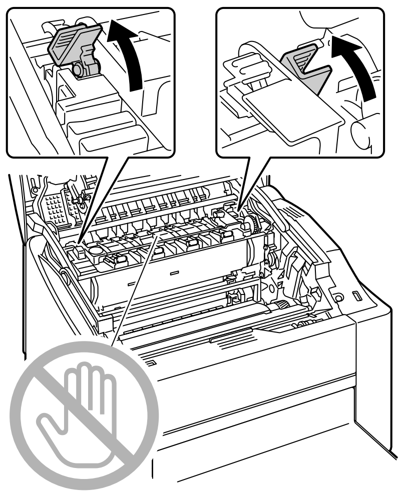
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

8 トップカバーを静かに閉じます。

封筒以外の用紙に印刷する場合は、左右の定着離間レバーを必ず戻してから印刷してください。

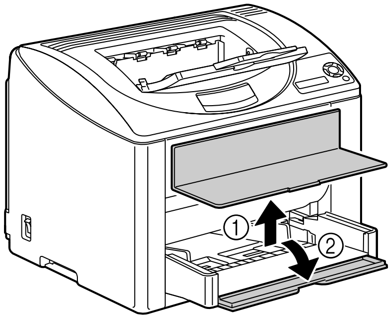


本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。

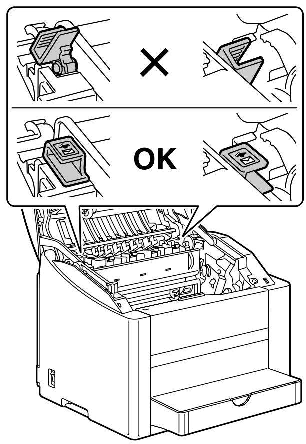


ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

1 トレイ 1 のふたを取りはずし、前面パネルを開きます。

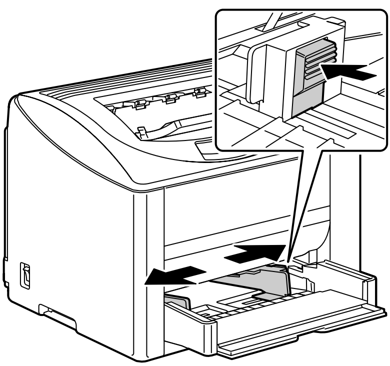


左右の定着離間レバーが起き上がった状態（封筒印刷位置）になっていないことを確認します。



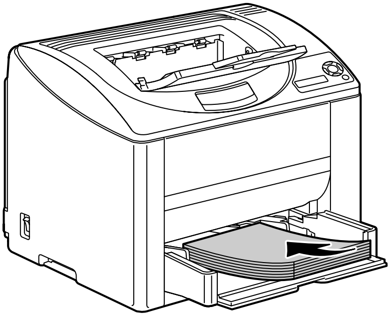
2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。

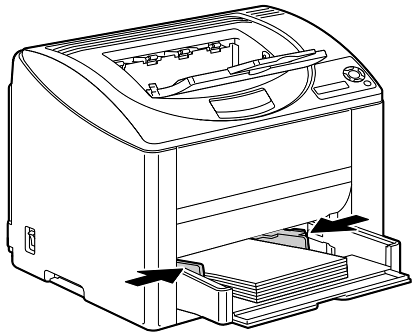


3 印刷面を上向きにして用紙をセットします。

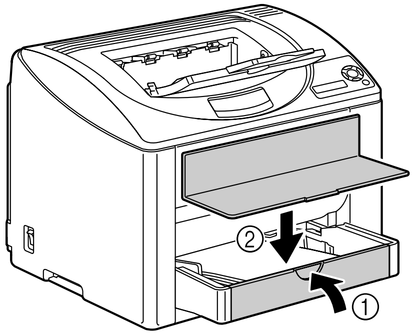
用紙は一度に 50 枚までセットできます。



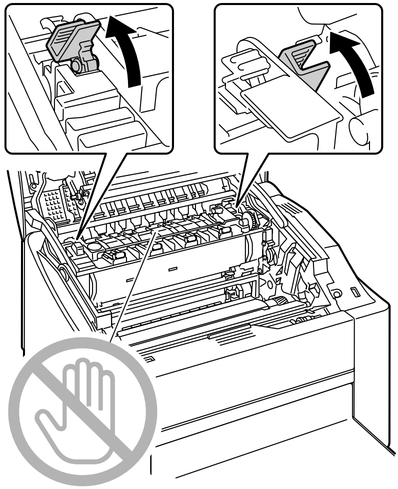
4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



5 トレイ 1 の前面カバーを閉じ、ふたを取り付けます。



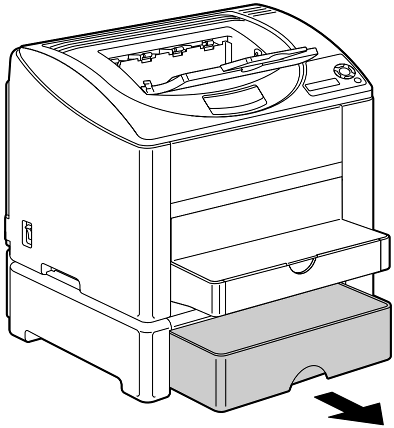
本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。



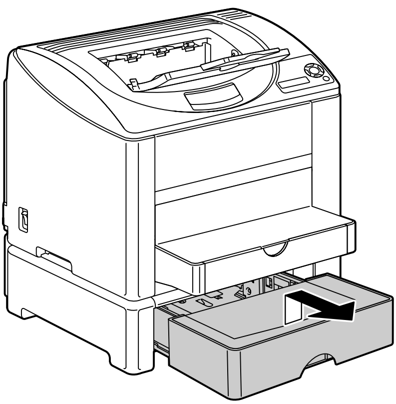
トレイ 2（オプションの給紙ユニット）

普通紙の場合

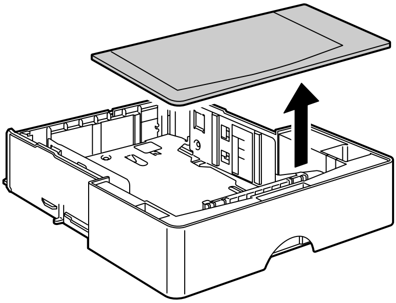
1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。



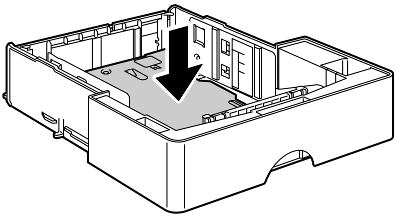
2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。



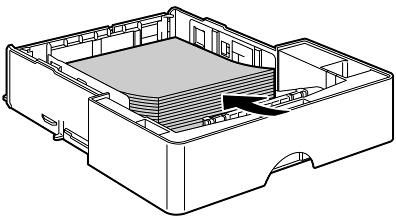
3 トレイ２のふたを取り外します。



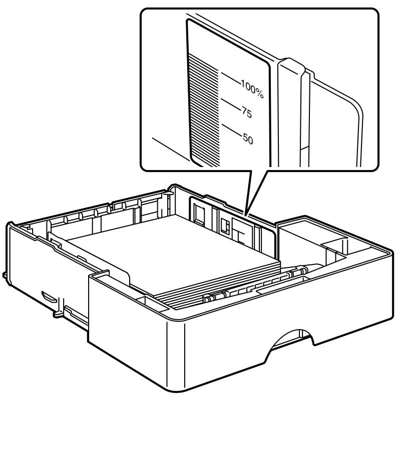
4 押し上げ板をロックするまで押し下げます。



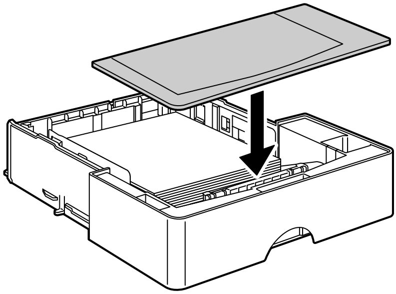
5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



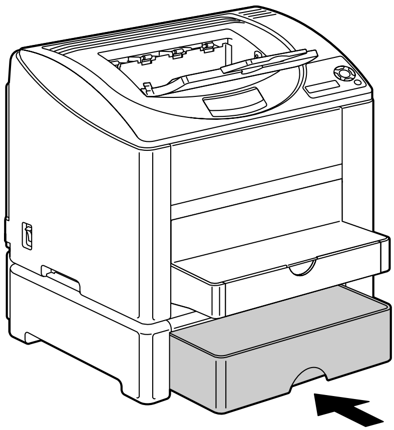
用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は１度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。



6 トレイ２のふたを取り付けます。



7 トレイ２をプリンタに戻します。



両面印刷

両面印刷には両面プリントユニット（オプション）が必要です。取り付け方法は「両面プリントユニット の取り付け」（p.220）をごらんください。
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。
「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。

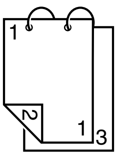
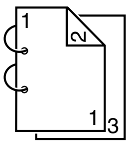
90 g/m² 以上の厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

両面プリントユニットがプリンタに装着されている状態で、両面印刷を行います。両面プリントユニットがプリンタに装着されていない状態で両面印刷を行うと、それぞれのページが片面印刷されます。

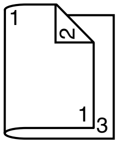
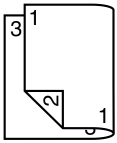
お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	短辺綴じに設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	長辺綴じに設定すると、横にめくるレイアウトになります。

また、「ページ割付」の「小冊子」を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	小冊子左綴じに設定すると、左開きの本のようにレイアウトされます。
	小冊子右綴じに設定すると、右開きの本のようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。
2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。
3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で 200 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙については、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

6 消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

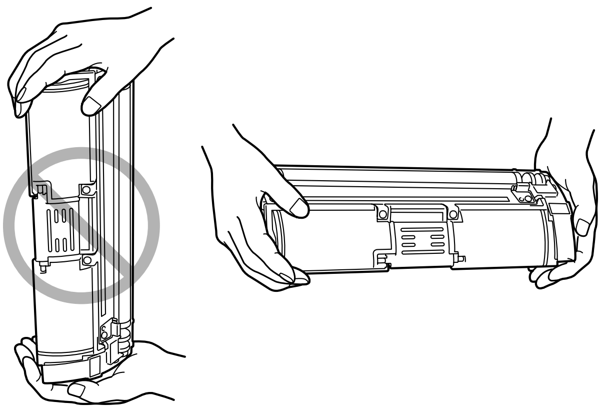
トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。プリンタタイプ（TYPE）とトナーカートリッジ製品番号はトップカバーを開け、プリンタ内部にあるラベルでご確認ください。

プリンタタイプ（TYPE）	**トナーカートリッジタイプ**	**トナーカートリッジ製品番号**
JP	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-001
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-002
	トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-003
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710588-004
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-005
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-006
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-007

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

ご注意

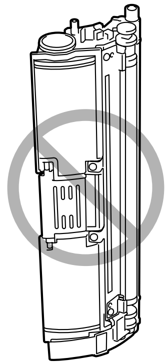
トナーカートリッジを立てて持たないでください。



トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。

■ 水平な状態で保管してください。
トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。



■ 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

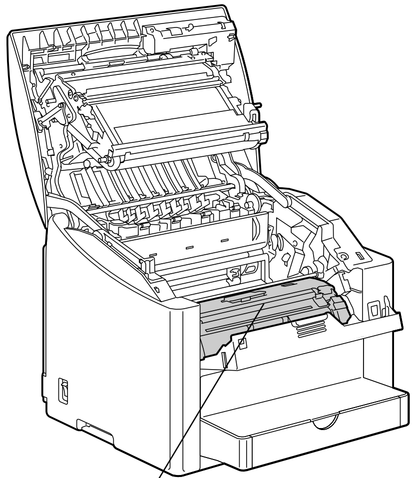
ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、「X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ」（X はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

「ﾋﾝｼﾂ」/「ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」メニューで「ｹｲｿﾞｸ」に設定している場合、「X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できます。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「X ﾄﾅｰ ﾅｼ」と表示されます。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。



1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認し、手順 2 へ進みます。

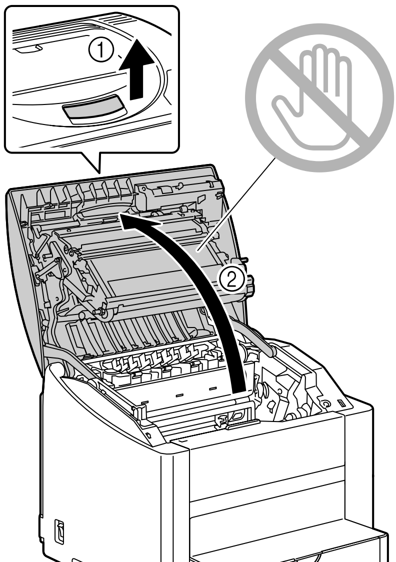
「ﾋﾝｼﾂ」/「ﾄﾅｰｼｭｳﾘｮｸﾄﾞｳｻ」メニューを「ﾃｲｼ（工場出荷時の状態）」に設定している場合、トナーがなくなると、印刷が止まり、トナーカートリッジは自動的に交換位置へ移動します。

強制的にトナーカートリッジを交換したい場合は、下の表の作業を行うことで、トナーカートリッジラックが自動的に回転し、指定した色のトナーカートリッジが交換位置へと移動します。

押すキー	ディスプレイ
★ メニュー 選択 ↵	ｲﾝｻﾂ オプションのハードディスクを装着している場合には、 ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ が表示されます。
► × 2（ハードディスク装着時は× 3）	ﾒﾆｭｰ ﾋﾝｼﾂ

押すキー	ディスプレイ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
▼	ﾌﾞﾗｯｸ
交換するトナーカートリッジが表示されるまで ▶ を押します。	X
＊ メニュー 選択 ↵	ﾊｲ
＊ メニュー 選択 ↵	しばらくすると「ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ」と表示されます。

2 レバーを引き（①)、トップカバーを開きます（②)。

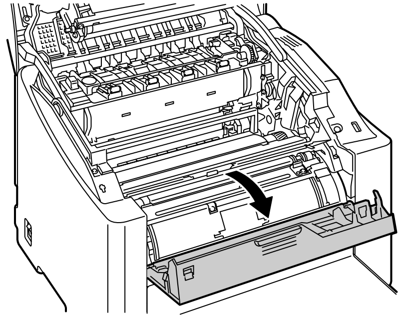


排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

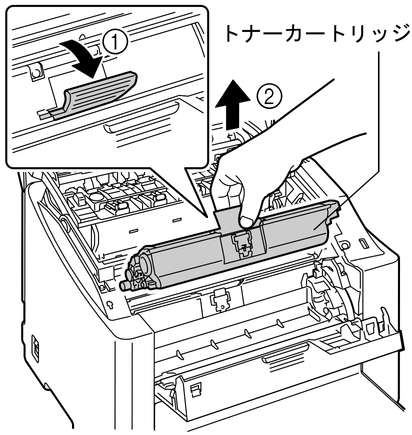
3 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ているのを確認し、前ドアを開きます。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。



4 トナーカートリッジのつまみを手前に倒し（①）、そのまま上に持ち上げてトナーカートリッジを取り外します（②）。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。



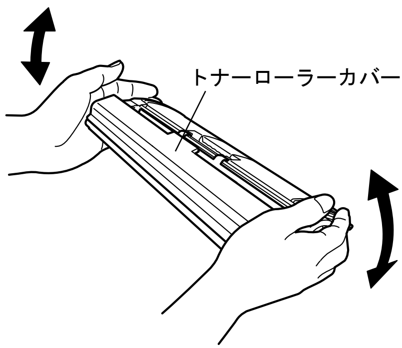
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

5 新しいトナーカートリッジを用意します。

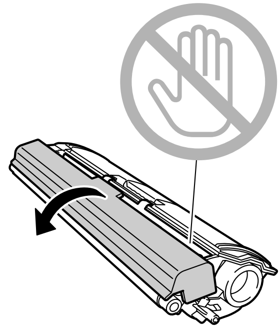
6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。



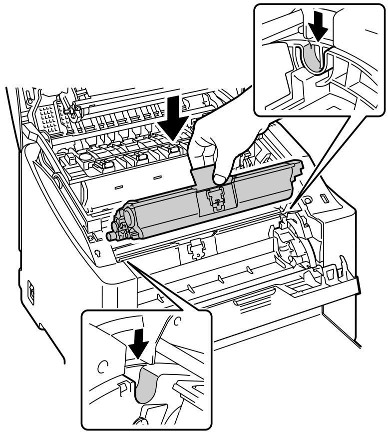
7 トナーローラーカバーを取り外します。

トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

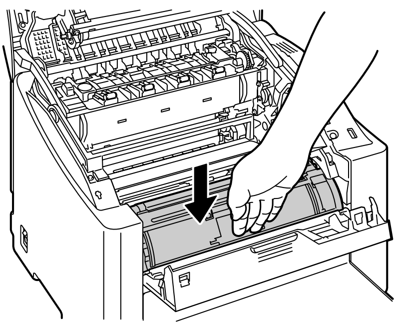


8 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

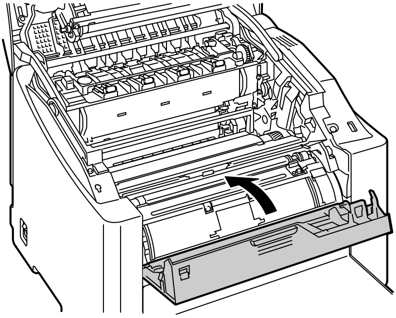


9 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。



10 前ドアを閉じます。

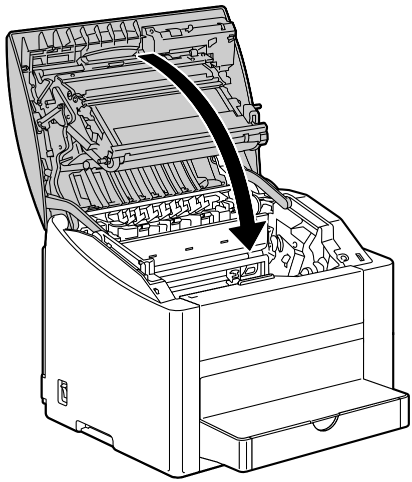
トップカバーを閉じる前に必ず前ドアを閉じてください。トップカバーを閉じたあとでは、前ドアは閉まりません。



11 トップカバーを静かに閉じます。

他にもトナーのなくなったトナーカートリッジがある場合、そのトナーカートリッジは交換位置へ自動的に移動します。手順 2 から操作を繰り返してください。

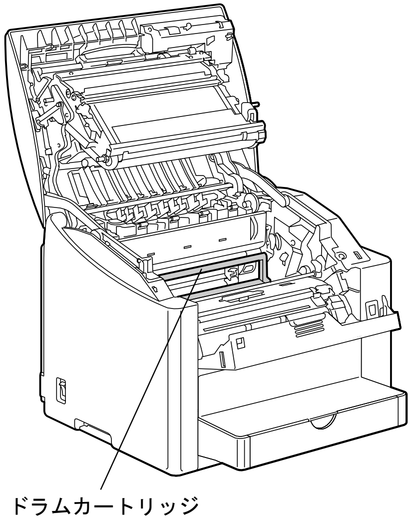
トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。



ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命に達すると「ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ ｱｳﾄ」のメッセージが表示されます。以下の手順にしたがってドラムカートリッジを交換してください。

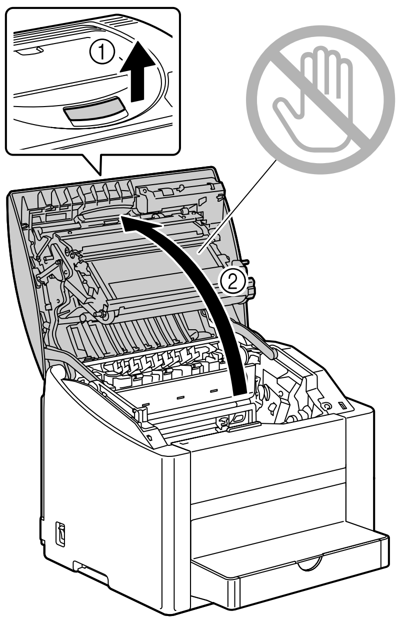
ドラムカートリッジは右図の位置にあります。



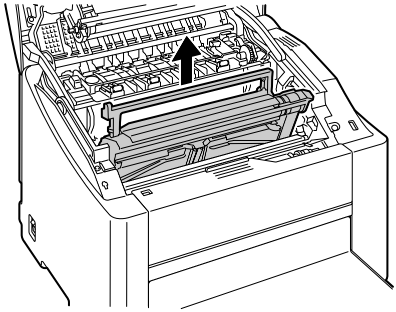
1 レバーを引き（①)、トップカバーを開きます（②)。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

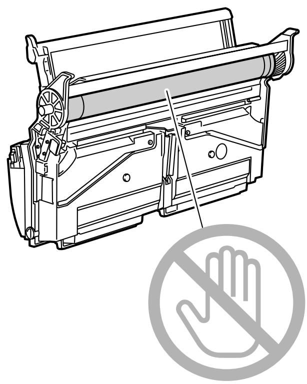


ご注意

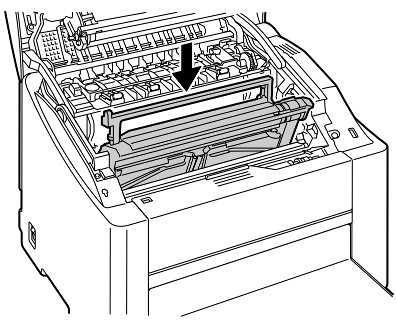
使用済みドラムカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいドラムカートリッジを用意します。

ドラムカートリッジの感光体には触れないように注意してください。

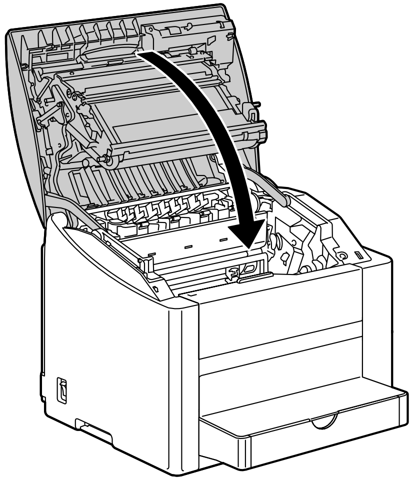


4 新しいドラムカートリッジを取り付けます。



5 トップカバーを静かに閉じます。

ドラムカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。



バックアップ電池の交換

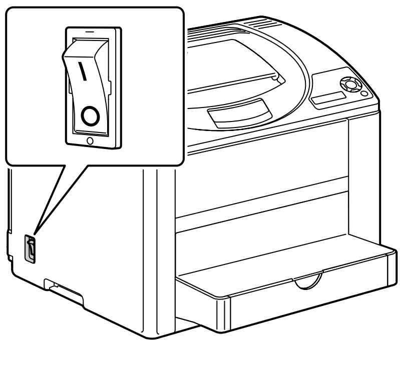
バックアップ電池が無くなると、プリンタで設定している日付や時刻が保持されません。以下の手順にしたがってバックアップ電池を交換してください。

ご注意

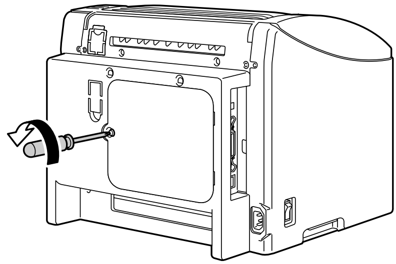
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.213）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリントユニットを取り外してください。

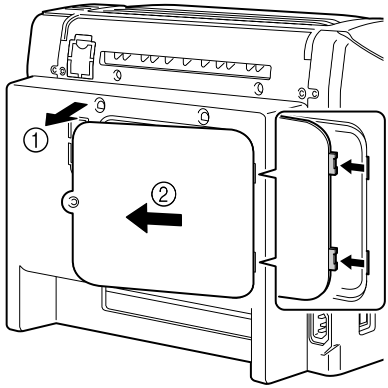


2 背面のネジをドライバーを使って取り外します。

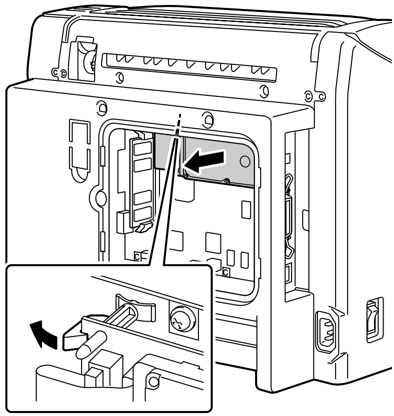


3 背面のパネルを取り外します。

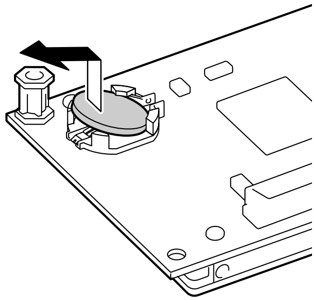
パネルの右側にはつめがありますので、左側を軽く手前に引き、スライドさせて取り外してください。



4 ハードディスク取付けピンのタブを左にスライドさせた状態で、ハードディスクを取り外します。

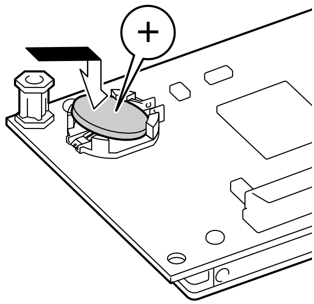


5 ハードディスク背面からバックアップ電池を取り外します。

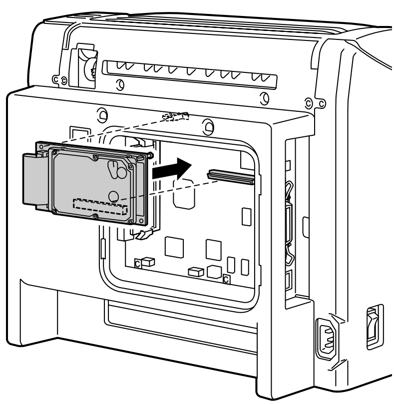


6 新しいバックアップ電池を取り付けます。

電池の＋側が上向きになるように取り付けてください。



7 ハードディスクをプリンタのコントローラボードに取り付けます。

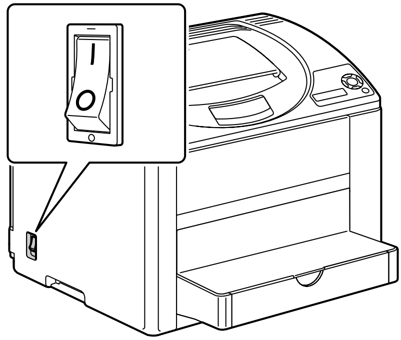


8 パネルを取り付け、外したネジをしめます。

両面プリントユニットを取り外した場合は、元通りに取り付けます。

9 インターフェースケーブルを接続します。

10 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



11 「ｼｽﾃﾑ / ﾋﾂﾞｹ」で日時を設定します。

メンテナンス 7

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

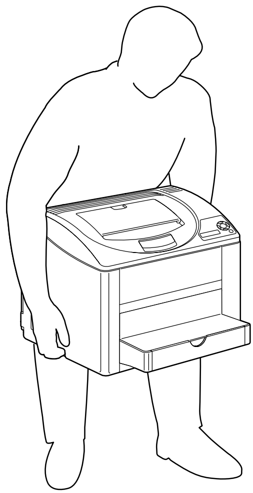
注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1 時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンタに振動を与えないようにしてください。

- プリンタを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。
- トップカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンタのトップカバーや前ドアを開けないでください。
- 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。
- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンタを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。
- プリンタを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。

  両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリンユニットを取り外してからプリンタを持ち上げてください。また給紙ユニットといっしょにプリンタを持ち上げないでください。



- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

プリンタの清掃

⚠ 注意

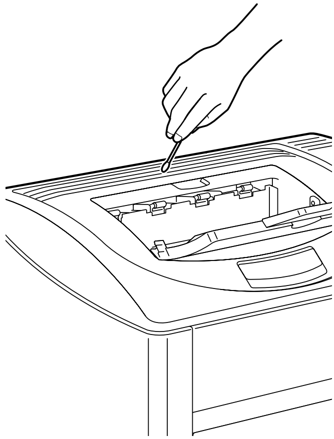
清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

プリンタ外側の清掃

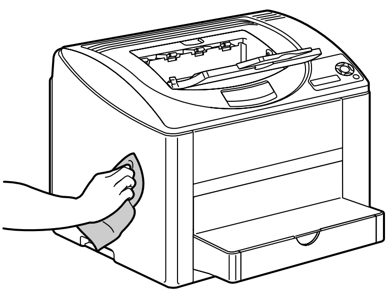
操作パネル



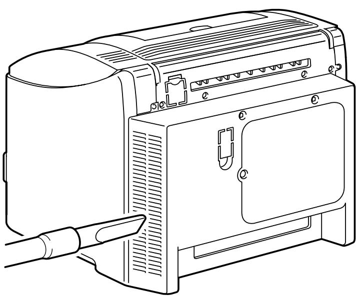
排気ダクト



プリンタの外側



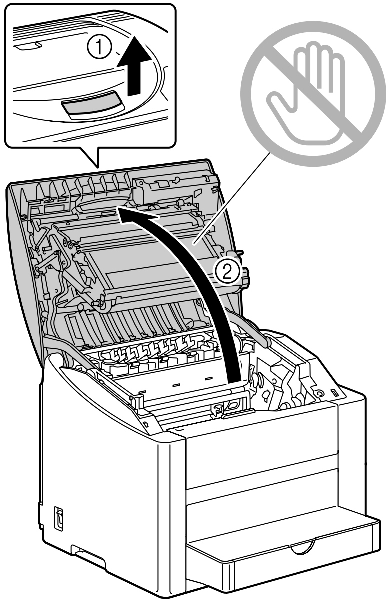
フィルタ



プリンタ内部の清掃

給紙ローラーとレーザーレンズの清掃

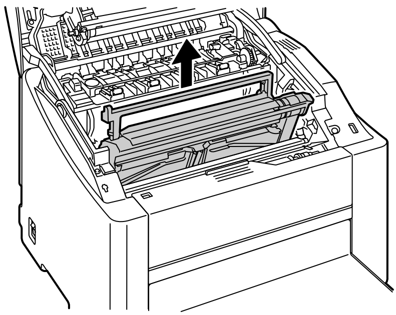
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

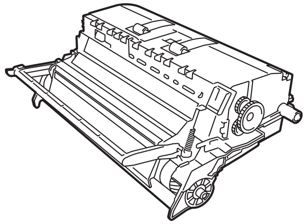
転写ベルトには触れないように注意してください。

2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

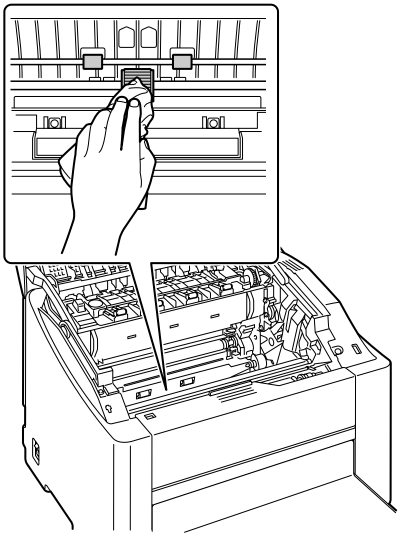


ご注意

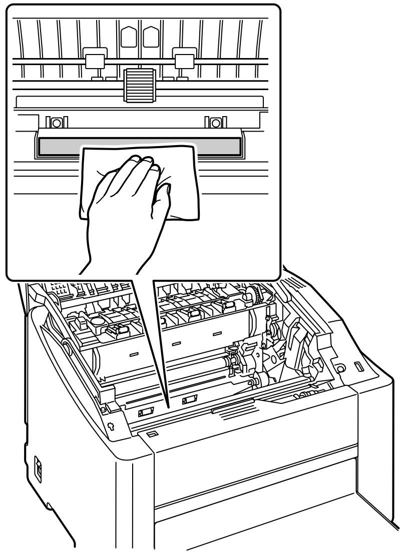
取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



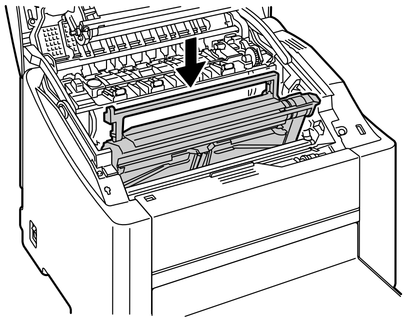
3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



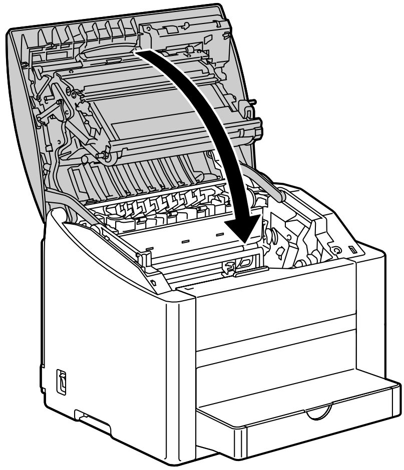
4 やわらかい乾いた布でレーザーレンズの汚れを拭き取ります。



5 ドラムカートリッジを取り付けます。

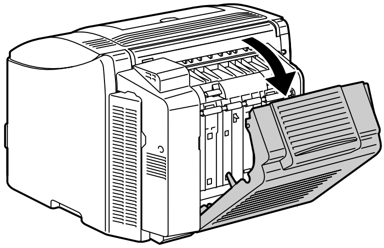


6 トップカバーを静かに閉じます。

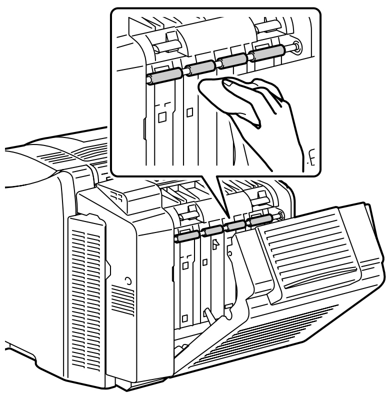


両面プリントユニットの搬送ローラー

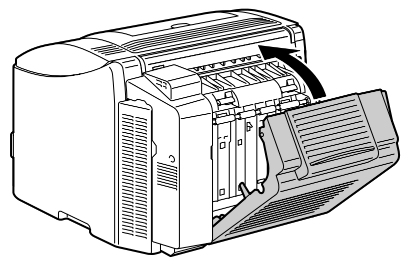
1 オプションの両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 搬送ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

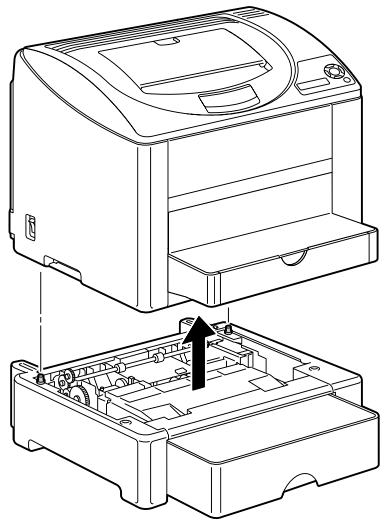


3 オプションの両面プリントユニットのカバーを閉じます。

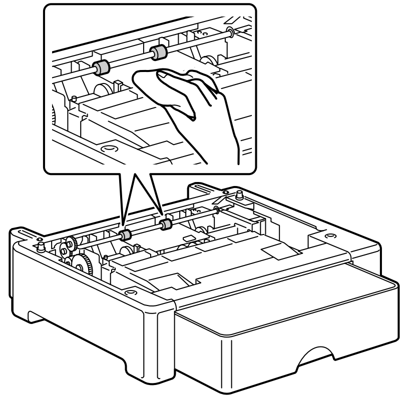


トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

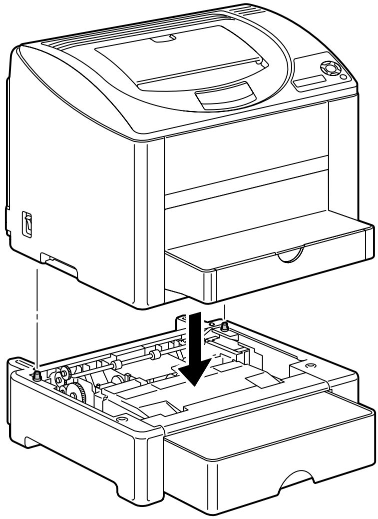
1 プリンタを持ち上げ、給紙ユニットから取り外します。



2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。



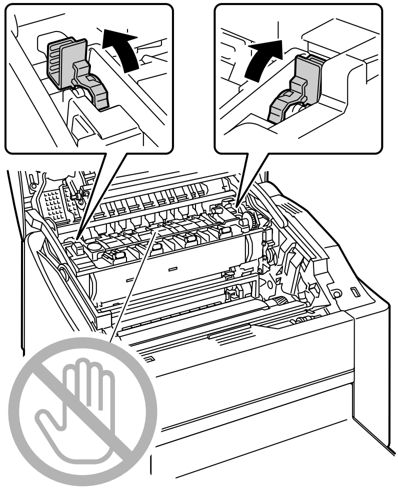
3 プリンタを持ち、給紙ユニットの位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。



プリンタの保管

ご注意

本プリンタを長期間使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起した状態（封筒側）で保管してください。



トラブル シューティング

8

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

設定リストを印刷する

設定リストを印刷し、プリンタが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
* メニュー 選択 ↵	ｲﾝｻﾂ オプションのハードディスクを装着している場合には、 ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ が表示されます。 ▶ キーを押して、「ｲﾝｻﾂ」を表示してください。
* メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ
▶	ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
* メニュー 選択 ↵	設定リストが印刷され「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイ 1 に用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 200 枚まで排紙できます。200 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1 排紙トレイ

2 転写ベルト

3 トナーカートリッジラック

4 ドラムカートリッジ

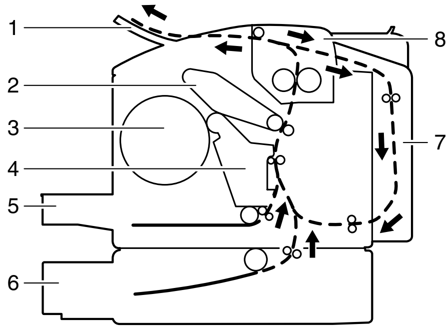
5 トレイ 1

6 トレイ 2（オプション）

7 両面プリントユニット（オプション）

8 定着ユニット

プリンタ内部断面図



紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンタのトップカバーの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

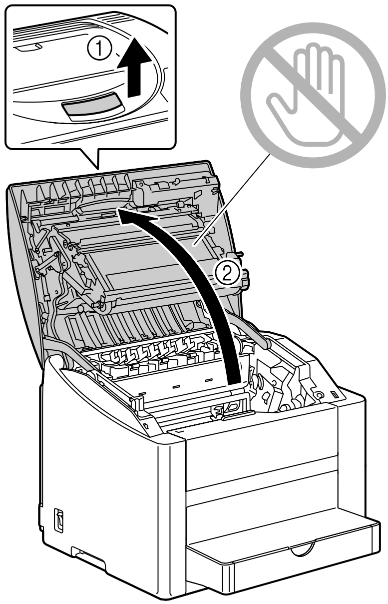
紙づまりメッセージ	参照ページ
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 1	p. 180
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾃｲﾁｬｸ ﾕﾆｯﾄ	p. 180
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊｲｼｭﾂ ﾌﾞ	p. 180
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊﾝｿｳ ﾌﾞ	p. 180
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 2	p. 185
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ	p. 188

プリンタ内部での紙づまり処理

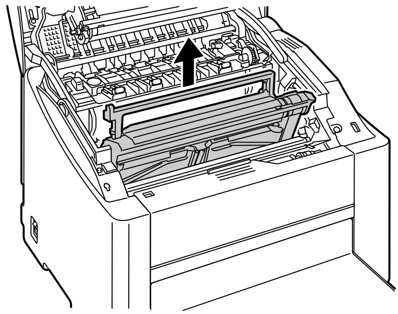
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

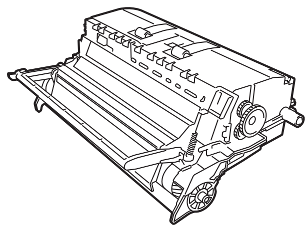


2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

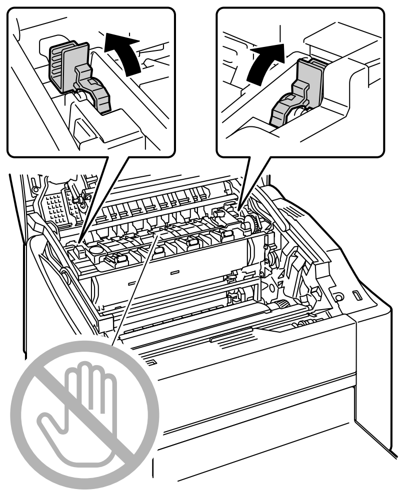


ご注意

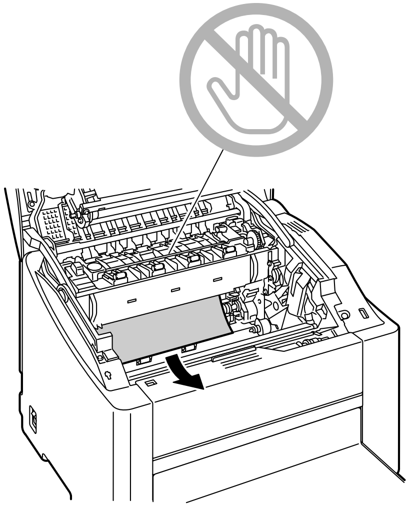
取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。



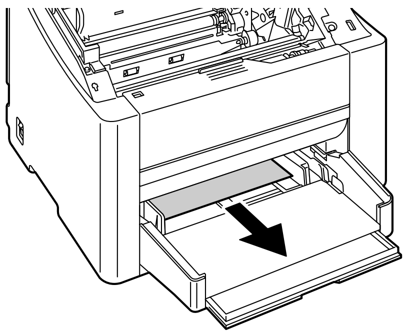
4 つまっている用紙を取り除きます。



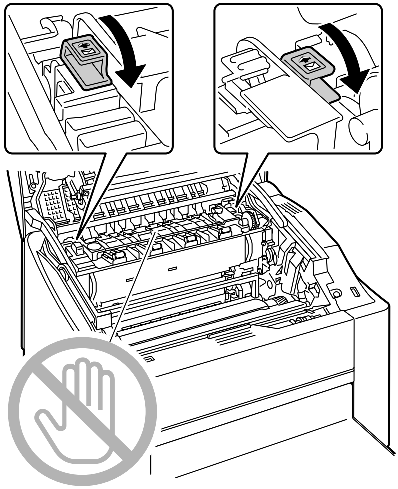
注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

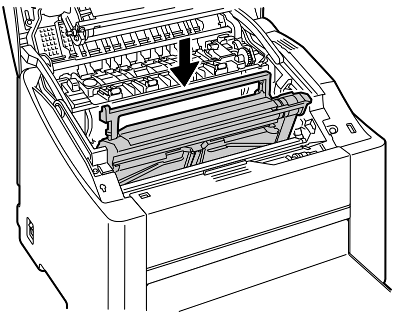




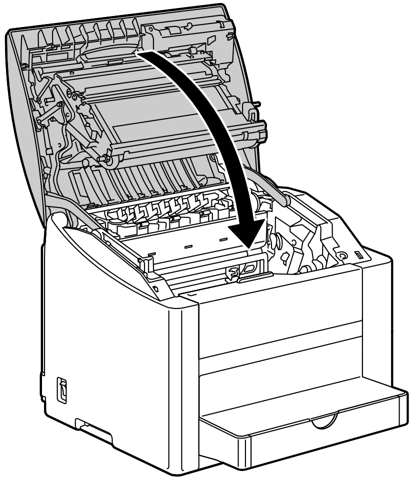
5 左右の定着離間レバーを通常印刷位置に戻します。



6 ドラムカートリッジを取り付けます。

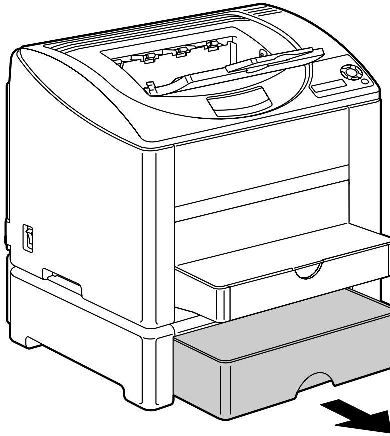


7 トップカバーを静かに閉じます。

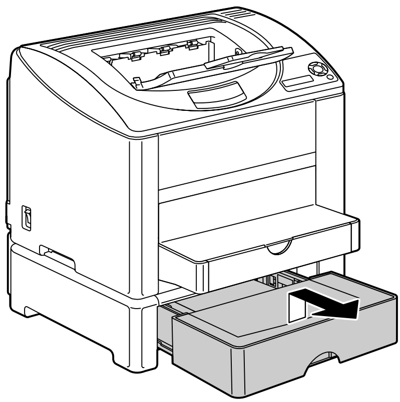


トレイ 2（オプションの給紙ユニット）での紙づまり処理

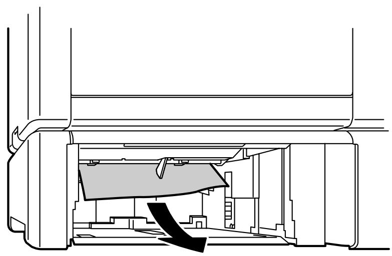
1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。



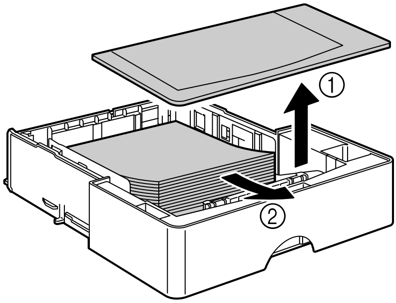
2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。



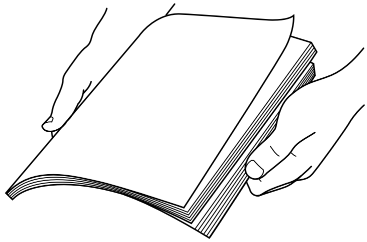
3 つまっている用紙を取り除きます。



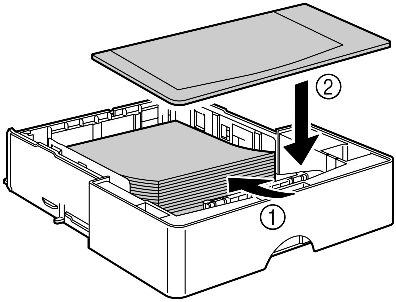
4 トレイ2のふたを取り外し、用紙を取り出します。



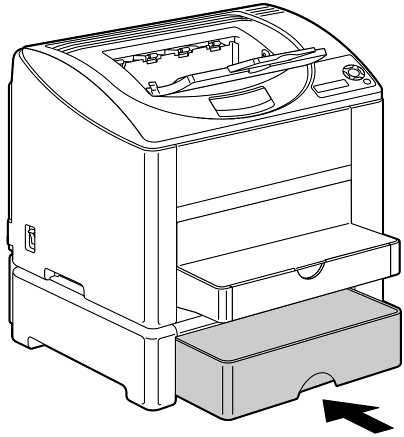
5 用紙をさばき、端を揃えます。



6 トレイ2に用紙をセットし、ふたを取り付けます。

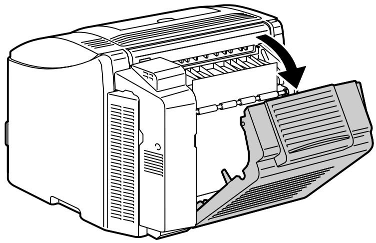


7 トレイ 2 を戻します。

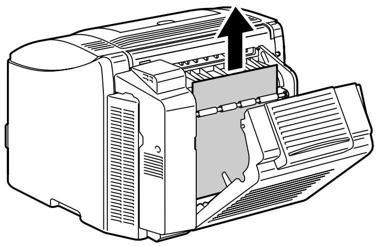


両面プリントユニットでの紙づまり処理

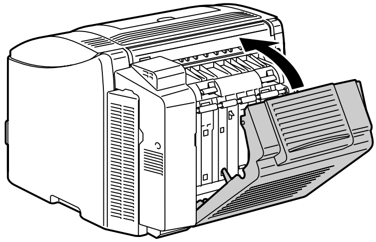
1 両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。



3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。



紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている	OHP フィルム以外の用紙は、よくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	トップカバーを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、普通紙、再生紙、レターヘッド、はがき、厚紙のみ両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		封筒やラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	オプションの給紙トレイに不定形紙、厚紙、ラベル紙、封筒、官製はがき、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベル紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを左側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイ内で静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1（多目的トレイ）にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンタ内部の清掃」（p.167）をごらんください。

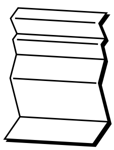
その他の問題

症状	原因	処置のしかた
印刷指示をしても何も印刷されない。	コンピュータの USB ポートを変更した。	PC の USB ポートの差し口を別の差し口に変更した場合は、元の差し口に接続してください。元の差し口に接続しない場合は、インストール済みのプリンタドライバを一旦削除し、プリンタドライバの再インストールを行ってください。 プリンタドライバのアンインストール、インストール手順については、本書および「magicolor 2550 インストレーションガイド」を参照してください。
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.226）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。

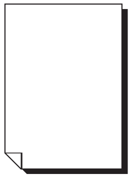
症状	原因	処置のしかた
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」(p.226) をごらんください。
設定リストや統計ページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを取り付けてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
操作パネルのメニューで設定変更が終わらないうちに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」画面に戻ってしまう	メニュー画面で設定変更中に 2 分間何も選択されていない。	メニュー画面では、2 分経つ前にメニュー・項目を選択してください。
印刷されないページがある	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2550 以外のプリンタドライバで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、magicolor 2550 のプリンタドライバで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。

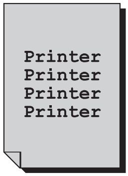
症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル紙、はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「デバイスオプション設定」タブで両面プリントユニットが「インストール済み」に設定されているか確認してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバの「レイアウト」タブの「印刷面」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子（袋とじ）印刷時に、左とじ／右とじの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	6 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 2550 リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
	左右の定着離間レバーを倒した状態で封筒を印刷している。	封筒を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを起してから印刷してください。
プリンタの日付、時刻が正しく保持されない。	バックアップ電池が寿命です。	バックアップ電池を交換してください。交換の仕方については、「バックアップ電池の交換」（p.158）をごらんください。

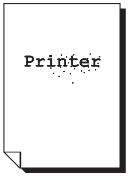
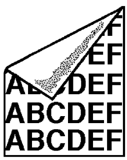
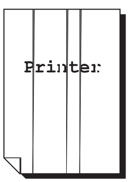
印刷品質の問題

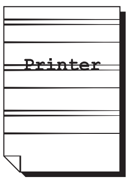
症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

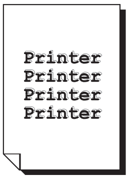
症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
印刷が薄い 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない 	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける 	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.118）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。

症状	原因	処置のしかた
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける  	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
横方向に線や帯が現れる  	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」または「X ﾄﾅｰ ﾅｼ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	ドラムカートリッジが正しく装着されていない。	ドラムカートリッジを取り出し、再度装着してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い 	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝﾁｭｳ	プリンタは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 電源オンの起動時 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ	プリントジョブがキャンセルされています。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ XX/XX	部単位印刷中です。	
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電モードになり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、プリンタは 35 秒以内に通常の消費電力に戻ります。	
ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ	プリンタは印刷可能な状態です。	
ｼｮｷｶﾁｭｳ	初期化処理中です。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷処理中です。	
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ処理中です。	
magicolor2550 STARTING SYSTEM	プリンタは起動中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	

エラーメッセージ（警告）

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾀﾞｼｲﾁﾆ ｲﾄﾞｳﾃﾞｷﾏｾﾝ	紙づまりなどの問題により、トナーカートリッジラックが回転できません。	紙づまりの場合は、紙を取り除いてください。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ ﾆｱﾌﾙ	オプションのハードディスクドライブの容量がいっぱいです。	ハードディスクに保存されているプリントジョブを削除してください。
X ﾄﾅｰ ﾅｼ （印刷可ランプ：オン、エラーランプ：オフ）	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。 （ﾋﾝｼﾂ / ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ / ｹｲｿﾞｸに設定されているときに表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証外となります。
X ﾋｾｲｷ ﾄﾅｰ	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ ﾛｰ	ドラムカートリッジがもうすぐ寿命です。	新しいドラムカートリッジを準備してください。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ ｱｳﾄ	ドラムカートリッジが寿命です。	ドラムカートリッジを交換してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	トレイ 1 使用中の場合：給紙された用紙のサイズがプリンタドライバまたは操作パネルで設定した用紙サイズと異なります。「ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ」が「ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴﾓｰﾄﾞ / ｼﾞﾄﾞｳ」、「ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ / ｵﾝ」に設定されている時に表示されます。	異なるサイズの用紙で印刷が継続されます。正しいサイズの用紙をセットして、印刷をやり直してください。
	トレイ 2 使用中の場合：給紙された用紙のサイズがプリンタドライバまたは操作パネルで設定した用紙サイズと異なります。「ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ」が「ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ / ｵﾝ」に設定されている時に表示されます。	
X ﾄﾅｰ ﾛｰ	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
ﾄﾚｲ 2 ｵｰﾌﾟﾝ	トレイ 2 が給紙ユニットに取り付いていないか、正しく差し込まれていません。	給紙トレイを給紙ユニットに確実に差し込んでください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ ｴﾗｰ	ハードディスクドライブがいっぱいか、故障しています。	ハードディスクドライブをフォーマットしてください。問題が解決しない場合は、ハードディスクドライブを交換してください。 ハードディスクのフォーマットは、「ｼｽﾃﾑ / ﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ / ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ」で行います。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ ﾌﾙ	ハードディスクドライブがいっぱいか、故障しています。	ハードディスクドライブをフォーマットしてください。 ハードディスクのフォーマットは、「ｼｽﾃﾑ / ﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ / ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ」で行います。
ﾘｮｳﾒﾝ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	両面プリントユニットのカバーが開いています。	両面プリントユニットのカバーを閉じてください。
AIDC ｴﾗｰ	AIDC センサでエラーが検出されました。	前ドアを開閉してください。自動的に AIDC センサの清掃が行われます。
ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ	前ドアが開いています。	前ドアを閉じてください。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ ﾐｿｳﾁｬｸ	ドラムカートリッジが取り付けられていません。	ドラムカートリッジを取り付けて下さい。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ	両面プリントユニットの内部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊｲｼｭﾂﾌﾞ	用紙の排出部で紙づまりが起きています。	
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾃｲﾁｬｸ ﾕﾆｯﾄ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊﾝｿｳﾌﾞ	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲX	トレイ X の給紙部で紙づまりが起きています。	

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>意味</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td>ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼｶｸﾆﾝ
YY XX</td><td>トレイ 1 にプリンタドライバで指定した用紙サイズと用紙種類がセットされていません。</td><td rowspan="3">「ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ」が「ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ / ｵﾝ」に設定されている場合：
異なるサイズの用紙で印刷が継続されます。正しいサイズの用紙をセットして、印刷をやり直してください。
「ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ」が「ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ / ｵﾌ」に設定されている場合：
正しいサイズの用紙をセットしてください。▼キーを押すと、現在の用紙で印刷を続行できます。</td></tr>
<tr><td>ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼｶｸﾆﾝ
YY XX</td><td>トレイ 2 にプリンタドライバで指定した用紙サイズと用紙種類がセットされていません。</td></tr>
<tr><td>ANY ﾄﾚｲｶｸﾆﾝ
YY XX</td><td>どのトレイにもプリンタドライバで指定した用紙サイズと用紙種類がセットされていません。</td></tr>
<tr><td>OPC ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ</td><td>ドラムカートリッジが寿命です。</td><td>ドラムカートリッジを交換してください。</td></tr>
<tr><td>X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
（印刷可ランプ：オフ、エラーランプ：オン）</td><td>X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。
（ﾋﾝｼﾂ / ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ / ﾃｲｼに設定されているときに表示されます。）</td><td>トナーカートリッジを交換してください。</td></tr>
<tr><td>X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
（印刷可ランプ：オフ、エラーランプ：オン）</td><td>X トナーカートリッジが寿命です。</td><td>トナーカートリッジを交換してください。</td></tr>
<tr><td>X ﾄﾅｰｶﾞ
ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ</td><td>X トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。</td><td>コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。</td></tr>
</table>

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ	給紙された用紙の種類がプリンタドライバで設定した用紙種類と異なります。	正しい種類の用紙をトレイにセットして、印刷をやり直してください。
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	給紙された用紙のサイズがプリンタドライバまたは操作パネルで設定した用紙サイズと異なります。 「ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ」が「ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ / ｵﾌ」に設定されている時に表示されます。	

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XX	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。 メッセージウィンドウの下部にはエラーの内容が表示されます。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

オプションの取り付け

9

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明
メモリ（DIMM）	128 MB、256 MB、512 MB DIMM（アンバッファ、NonECC）
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付
ハードディスク	40GB ハードディスク

ご注意

オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

プリンタコントローラボードや部品を取り扱う前、またプリンタコントローラボードを取り外す前に、接地面に触れて、体についている静電気を放電してください。また、放電した後は、歩き回らないでください。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには、標準で 256 MB のメモリが付属しています。増設メモリ（DIMM）を取り付けることにより、最大 640 MB のメモリまでプリンタをアップグレードすることができます。メモリスロットは 1 つ使用できます。

メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA 純正品をご使用ください。

印刷時に必要なメモリ

	モノクロ		フルカラー		フルカラー	
	片面 / 両面		片面		両面	
解像度 / 用紙サイズ	標準	高品質	標準	高品質	標準	高品質
レター /A4	128 MB	128 MB	128 MB	128 MB	128 MB	256 MB
リーガル	128 MB	128 MB	128 MB	256 MB	128 MB	384 MB

メモリ（DIMM）仕様

容量	128MB、256MB、512MB
モデュールタイプ	アンバッファ、NonECC
ピン数	100 ピン
コンフィグレーション	16M × 64、32M × 64、64M × 64
データレート	100MHz、133MHz
CAS レイテンシ	2.5
電圧	3.3V

オプションのメモリについて詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスし、ご確認ください。

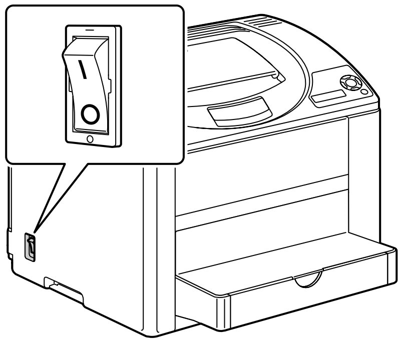
メモリの取り付けかた

ご注意

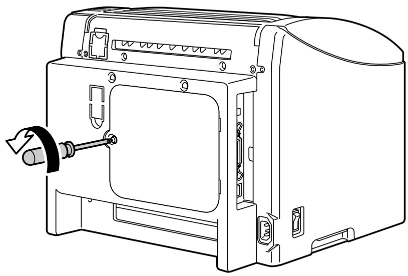
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.213）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリントユニットを取り外してください。

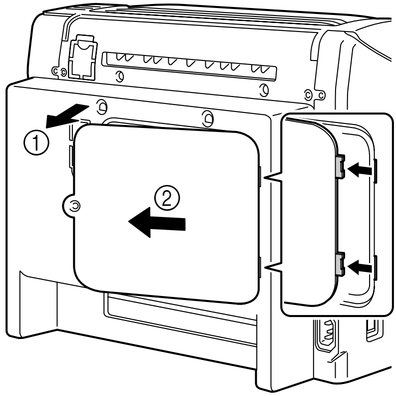


2 背面のねじをドライバーを使って取り外します。

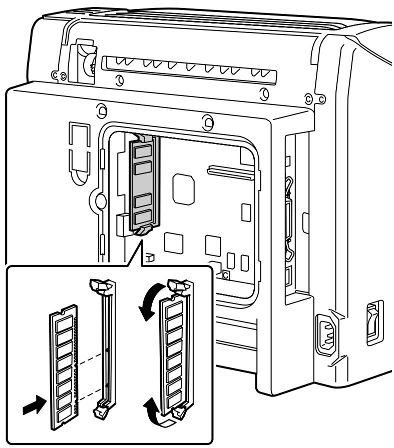


3 背面のパネルを取り外します。

パネルの右側にはつめがありますので、左側を軽く手前に引き、左へスライドさせて取り外してください。



4 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

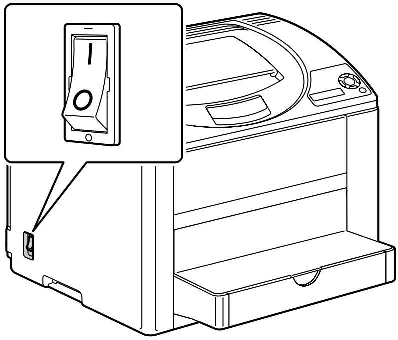


5 パネルを取り付け、ネジを取り付けます。

両面プリントユニットを取り外した場合には、元通りに取り付けます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

7 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



8 設定リストページを印刷（ｲﾝｻﾂ / ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ）し、プリンタに装着されているメモリの総容量の表示を確認します。

9 プリンタの電源を入れ、プリンタドライバのデバイスオプション設定タブで、装着したメモリが正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.28）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

ハードディスクの取り付け

ハードディスクを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、ジョブの印刷／保存、フォント／フォーム／カラープロファイルのダウンロードをすることが可能となります。

ユーザー使用可能エリアは 40 GB 中 18 GB になります。

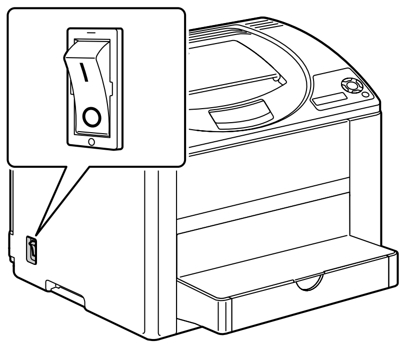
ハードディスクの取り付けかた

ご注意

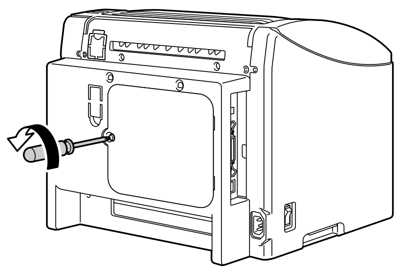
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.213）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリントユニットを取り外してください。

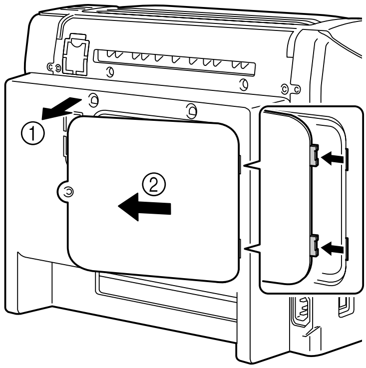


2 背面のネジをドライバーを使って取り外します。



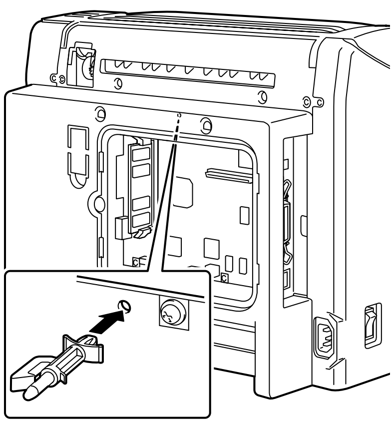
3 背面のパネルを取り外します。

パネルの右側にはつめがありますので、左側を軽く手前に引き、左へスライドさせて取り外してください。

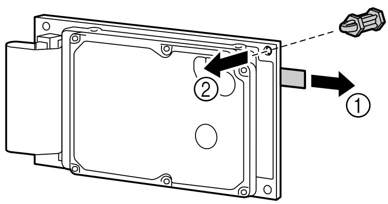


4 プリンタのコントローラボードにハードディスクの取り付けピンをはめ込みます。

取り付けピンは、図のようにタブが左側になる向きに調節してください。



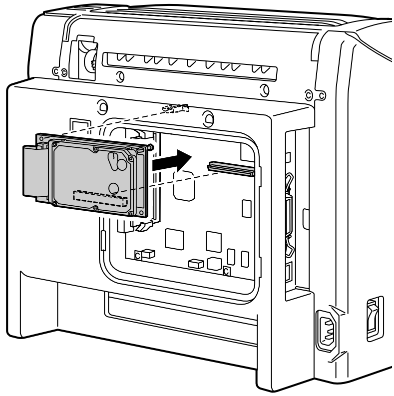
5 電池とハードディスクの間の絶縁スペーサーを取り外し、ハードディスクのコントローラボードに、スペーサーを取り付けます。



6 ハードディスクをプリンタのコントローラボードに取り付けます。

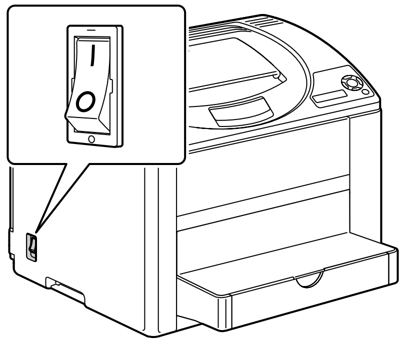
7 パネルを取り付け、ネジを締めます。

両面プリントユニットを取り外した場合には、元通りに取り付けます。



8 インターフェースケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

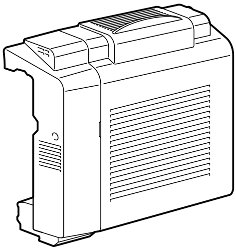


10 プリンタドライバのデバイスオプション設定タブで、装着したハードディスクが正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.28）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

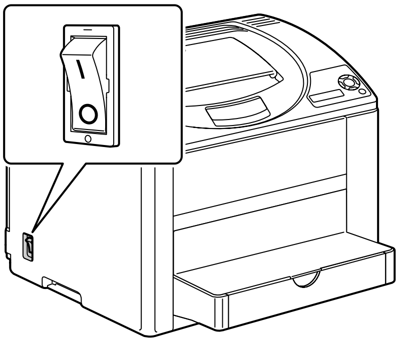
両面プリントユニット の取り付け

両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、自動的に両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.143）をごらんください。

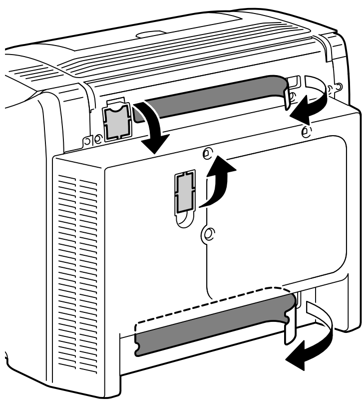


両面プリントユニットの取り付けかた

1 プリンタの電源を切ります。

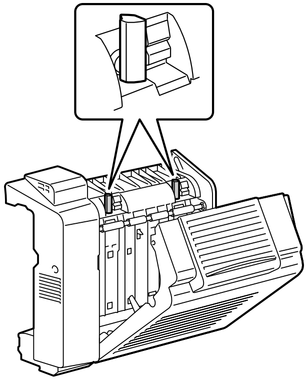


2 2 箇所の割りカバーと、テープを取り除きます。

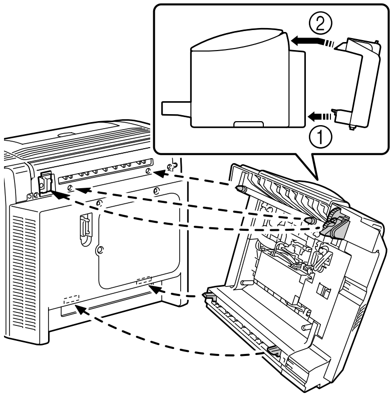


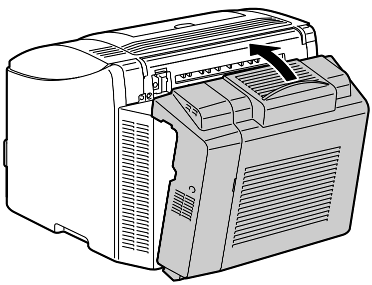
3 両面プリントユニットを用意します。

取り付ける前に、両面プリントユニットのカバーをあけ、つまみが垂直になっていることを確認してください。確認後、カバーは閉じてください。



4 両面プリントユニットを取り付けます。



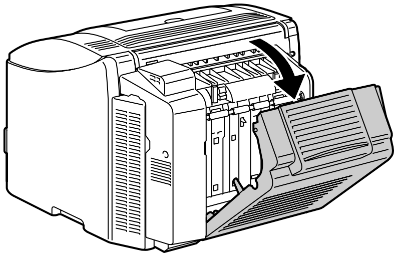


ご注意

必ず図のように、先に下側をセットしてから両面プリントユニットを装着してください。無理な方法で取り付けると、両面プリントユニット破損の原因となります。

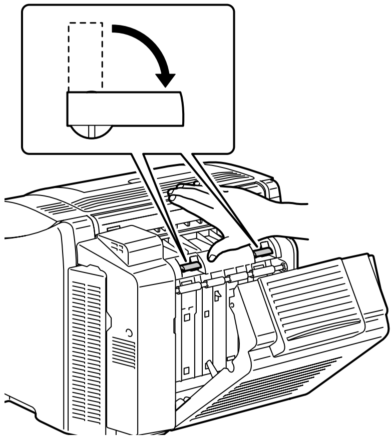
5 両面プリントユニットのカバーを開きます。

両面プリントユニットはまだプリンタ本体に固定されていません。カバーを開ける時は両面プリントユニットをしっかり手で押さえながら開けてください。

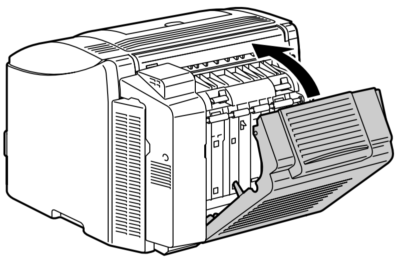


6 つまみを押しながら時計方向に回し、水平にします。
両面プリントユニットが固定されます。

両方のつまみがしっかりロックされていることを必ず確認してください。



7 両面ユニットカバーを閉めます。

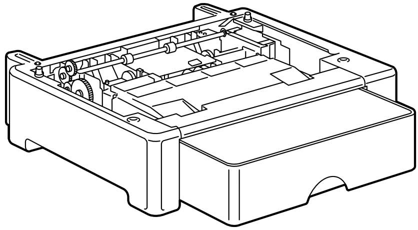


8 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブで両面印刷ユニットがインストール済みオプションになっていることを確認します。

インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.28）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

給紙ユニット（トレイ 2）の取り付け

オプションの給紙ユニットを装着すると、給紙容量が増加します。
給紙ユニットは、A4 サイズの普通紙を最大 500 枚セットできます。

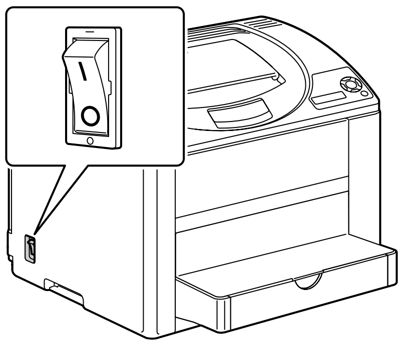


給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

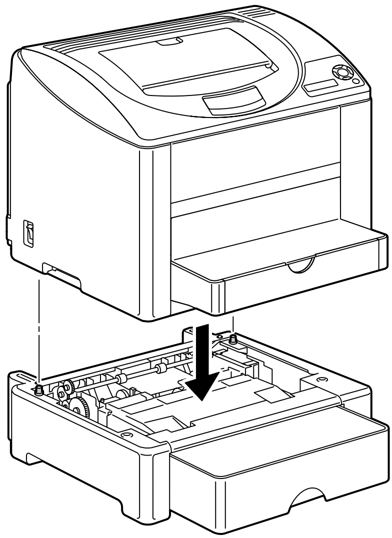
1 プリンタの電源を切り、全てのケーブルを取り外します。



2 給紙ユニットを用意します。

 給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

3 プリンタを持ち、給紙ユニットの位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせ正しくセットします。



4 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブでトレイ 2 がインストール済みオプションになっていることを確認します。

インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.28）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

付録 A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー＋回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	600 dpi × 600 dpi × 4 bit または 600 dpi × 600 dpi × 1 bit
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ：13.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：22.0 秒（A4、レターの場合） 両面 モノクロ：26.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：35.0 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	片面 モノクロ：20.0 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合） 両面 モノクロ：11.4 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 52 秒 最長 61 秒以下
用紙サイズ	トレイ 1 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm トレイ 2（オプション） A4/ レター

用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（91 ～ 163 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙
給紙容量	トレイ 1 普通紙、再生紙：200 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙、OHP フィルム、光沢紙、レターヘッド：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、再生紙、レターヘッド：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：200 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：1100 W 以下 モノクロ印刷時：600 W 以下 フルカラー印刷時：450 W 以下 スタンバイ時：250 W 以下 節電モード時：15 W 以下 電源オフ時：0W
消費電流	11 A 以下
ノイズレベル	印刷時：52 dB 以下 スタンバイ時：35 dB 以下
外形寸法	高さ：349 mm 幅：430 mm 奥行：395 mm

質量	プリンタ本体： 17.3 kg（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、ダストカバーを除く） 21.0 kg（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、ダストカバーを含む） トナーカートリッジ： 製品に付属のカートリッジ＝ 0.65kg（C、M、Y） 0.66kg（K） 交換用カートリッジ（トナーローラーカバー含む）＝ 標準： 0.61 kg（Y、M、C） 大容量： 0.70 kg（Y、M、C） 0.71 kg（K）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット、パラレル
メモリ	256 MB（最大 640MB まで拡張可能）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 4,500 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）: 約 4,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
ドラムカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には、上記消耗品の他に、製品の性能を保証するために定期交換が必要な部品があります。

定期交換部品は、交換時期を過ぎた場合でも、お使いの製品に特に異常が無いときは、交換を行わないでそのままご使用いただいても問題ございません（ただし性能の保証はできませんのであらかじめご了承ください）。

定期交換部品	平均の寿命の目安
転写ベルト	約 135,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 33,700 ページ（カラー連続印刷） 約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 22,500 ページ（カラー間欠印刷）
転写ローラー	約 120,000 ページ
定着ユニット	約 120,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

索引

い

え

お

か

き

こ

し

せ

そ

て

は

ふ

め